

## 甲斐市議会予算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成26年3月13日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（20名）

委員長	長谷部 集 君	副委員長	小澤 重 則 君
	八代 静 枝 君		松井 豊 君
	清水 正 二 君		斉藤 芳 夫 君
	米山 昇 君		山本 今朝雄 君
	坂本 一 之 君		有泉 庸一郎 君
	三浦 進 吾 君		猪股 尚 彦 君
	山本 英 俊 君		内藤 久 歳 君
	名取 國 士 君		小浦 宗 光 君
	河野 勝 彦 君		池神 哲 子 君
	保坂 芳 子 君		樋泉 明 広 君

欠席委員（なし）

傍聴議員（1名）

議長 藤原 正 夫 君

---

### 説明のため出席した者の職氏名

生活環境部長	花形 保 彦 君	環境課長	長田 治 君
環境保全係長	丸山 英 資 君	生活環境係長	鷹野 久 君
敷島支所 地域課長	内田 隆 君	敷島支所 福祉健康係長	山田 郁 子 君
敷島支所 環境土木係長	篠原 千 里 君	双葉支所 地域課長	輿石 倫 雄 君
双葉支所 福祉健康係長	小林 和 彦 君	福祉健康部長	笹本 嘉 朝 君
子育て支援 課長	三井 敏 夫 君	児童係長	小宮山 正 美 君
保育係長	長田 裕 二 君	竜王東 保育園長	望月 恵 子 君

竜児王南 児童館長	古屋志津子君	長寿推進課長	三澤宏君
長寿あんしん 係	土屋達巳君	介護保険係長	保坂江里君
介護予防推進 係	向山治子君	健康増進課長	小宮山謙二君
保健指導係長	長坂千恵子君	建設産業部長	米山徳彦君
商工観光課長	花輪正純君	商工労働係長	三井美樹君

---

**職務のために出席した者の職氏名**

議会事務局長	中村宗和	書記	小澤明
書記	石原大助	書記	松井恵美

開会 午前 9時26分

○委員長（長谷部 集君） ただいまの出席委員は20名であります。定足数に達しておりますので、これより予算審査特別委員会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

---

○委員長（長谷部 集君） 本日も、昨日に引き続き一般会計歳出の予算の審査を行います。限られた時間内ですので、委員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

審査に当たり、質問は一問一答で簡潔にお願いいたします。また、当局側の答弁も簡潔に説明をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、審査に入ります。

議案第34号 平成26年度甲斐市一般会計予算を議題といたします。

初めに、長寿推進課より、第3款民生費のうち、長寿推進課所管事業の社会福祉費について説明を求めます。

三澤長寿推進課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 皆さん、おはようございます。

それでは、長寿推進課が所管します3款民生費、1項社会福祉費、3目老人福祉費につきましてご説明をいたします。

予算説明書76ページ、77ページをお開きください。

老人福祉費12億4,328万5,000円のうち、長寿推進課にかかわる部分は、009の一般管理から018の在宅医療推進協議会設置事業までとなり、予算額は6億3,972万7,000円となります。

各事業の内容等につきましては、予算参考資料ナンバー5で説明させていただきます。

12ページ、13ページのほうをお開きください。なお、予算審議資料につきましては14ページとなりますので、あわせてごらんいただきたいと思います。

それでは、009一般管理費310万2,000円、平成27年度から29年度までの3カ年の高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定の委託料、長寿推進課の消耗品費、郵便代等の事務費、山梨県老人クラブ連合会への法令外負担金でございます。

続きまして、010老人保護措置事業5,883万8,000円につきましては、基本的には65歳以上の者で、環境上または経済上の理由等によりまして、日常生活を営めない事情がある高齢者を養護老人ホームに入所措置するためのもので、老人ホーム入所判定委員会委員5人の報酬及び事務費、養護老人ホーム入所者25名にかかわる措置費でございます。

財源につきましては、施設入所者負担金588万8,000円がその他の財源となります。

011在宅福祉事業1,356万4,000円につきましては、14の事業を実施しておりまして、それぞれの事業等についてご説明をしたいと思います。

まず、一番最初ですけれども、寝具洗濯乾燥消毒サービス事業につきましては、寝たきり高齢者等の寝具の乾燥等を行うもので、3人の利用を見込んでおります。

続きまして、軽度生活援助事業、介護保険の対象とならないひとり暮らしの虚弱高齢者にヘルパーを派遣し家事援助を行うもので、1人の利用を見込んでおります。

3つ目です。訪問理美容サービス事業は、寝たきり高齢者の理美容に助成するもので、5人の利用を見込んでおります。

4つ目ですけれども、友愛訪問事業につきましては、75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、安否確認を目的としてヤクルトを配布するもので、500人の利用を見込んでおります。

5つ目です。生活管理指導員派遣事業につきましては、介護保険の対象とならない高齢者で、生活習慣が欠如したり、対人関係が成立しないなどの社会適応が困難な方に支援するもので、1人の利用を見込んでおります。

6つ目です。生活管理指導短期宿泊事業は、上記の、今説明しました高齢者に短期宿泊を行いまして指導していくもので、1人の利用を見込んでおります。

7つ目です。配食サービス事業につきましては、調理することが困難なひとり暮らし高齢者等を対象にお弁当を配布し、安否確認を同時に行うもので、75人、1万800食の利用を見込んでおります。

8つ目です。家族介護者ヘルパー受講支援事業につきましては、家族介護者がホームヘルパーの資格研修を受講する際、その費用の一部を助成するもので、5人の利用を見込んでおります。

9つ目です。ふれあいペンダント事業は、ひとり暮らし高齢者等の緊急時における迅速な対応を図るための緊急通報装置を設置しているもので、86台の維持管理費と10台の機器購入費の合計258万円で、86人の利用者を見込んでおります。

10番目です。日常生活用具貸与事業は、特殊ベッド、エアマット等を貸し出すもので、1人の利用を見込んでおります。

11番目です。高齢者福祉タクシー・バス利用料助成事業につきましては、高齢者の社会活動の範囲を広め、自立を支援するためのもので、300人の利用を見込んでおります。なお、タクシーの中型の初乗り料金がことし26年4月から710円から730円となる予定であるため、助成金につきましても、タクシー、バスともに月額1,420円の助成を1,460円にする予定でございます。

12番目です。徘徊高齢者家族支援事業につきましては、徘徊探知器を貸与することにより徘徊高齢者の早期発見につなげるもので、2人の利用を見込んでおります。

13番目です。介護保険通所サービス利用者食費負担額助成事業につきましては、デイサービスを利用している低所得者の食費のうち、1食につき100円を助成するもので、50人の利用を見込んでいます。

14番目です。ミニデイサービス事業につきましては、高齢者が閉じこもりがちになり要介護状態にならないよう、レクリエーションや体操などを実施するもので、24人の利用を見込んでおります。

14の事業につきましては以上でございます。

続きまして、012虐待等一時保護措置事業47万7,000円につきましては、家族等から虐待等を受けた高齢者を一時的に入所保護措置を行うもので、2人の利用を見込んでおります。

財源につきましては、施設入所者負担金32万2,000円がその他の財源となります。

013敬老祝金支給事業594万9,000円につきましては、高齢者の長寿を祝福し、敬老意識の発揚に努めること等を目的としまして、77歳、585人に3,000円、88歳、220人に5,000円、100歳以上、33人に5万円、100歳時のお祝いとしまして14人に10万円を支給するもので、その他は事務費となります。

014高齢者社会活動推進事業571万8,000円は、毎年9月に開催されます山梨県ねんりんピック参加経費と老人クラブ活動補助金、また、高齢者と子どもの帰り道ふれあい事業でございます。高齢者ふれあい事業につきましては、市内11の小学校で、高齢者が児童の下校時に合わせ、安全確認と挨拶を交わし、触れ合いを深めているものでございます。

財源につきましては、老人クラブが行う活動等に対しまして、県から221万円の補助があります。

015介護保険サービス利用者負担対策事業256万3,000円につきましては、低所得者・生活

困難者層に対する介護保険サービス利用料の軽減措置でございます。

財源は、県から事務費の75%、192万2,000円の補助がございます。

次に、016介護保険特別会計操出金事業5億4,855万9,000円につきましては、介護保険係の人件費、事務費、介護給付費の市負担分、介護認定審査会にかかわる経費等でございます。詳細につきましては、介護保険特別会計の際、ご説明させていただきます。

017介護サービス特別会計操出金19万8,000円につきましては、要支援者へのケアマネジメント等を行う介護サービス特別会計の操出金でございます。詳細につきましては、介護サービス特別会計の際、ご説明させていただきます。

最後になりますけれども、018在宅医療推進協議会設置事業75万9,000円につきましては、平成25年12月の補正のときに新たにに取り組む事業としてご説明をさせていただきましたけれども、当事業は県の全面的な支援を受けまして、高齢化が進行する中で、地域の実情に応じた在宅医療の多職種連携を推進するための在宅医療推進協議会を設置し、地域レベルで顔が見える在宅医療関係者の関係づくり等を進めるものでございます。事業期間は平成25年度から27年度までの3カ年となりまして、26年度につきましては病院、診療所、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等との会議や研修会、先進地研修等の実施を予定しております。

財源は、県から75万9,000円の全額補助があります。

説明は以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） 説明が終わりました。

これより説明に対しての質疑を行います。

所管は、厚生環境常任委員でございます。

先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 011の在宅福祉なんですけど、軽度生活援助、それから生活管理、前年度は6カ月の予定で予算を組んでいましたが、今回3カ月ということで、それをちょっとお聞かせいただきたい。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 平成24年度の対象者がゼロ人でしたので、一応存置的なものもありまして、ちょっと3カ月という形で短縮させていただきました。よろしく申し上げます。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。

あと、ふれあいペンダントなんですけど、これ、広域ごとにちょっと人数を教えてくださいませんか。甲府と、それから峡北で。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） ふれあいペンダントの利用者でよろしいでしょうか。

甲府広域分が、敷島が19件、竜王が32件ですので51件、それから峡北広域で双葉の分ですが、4件ということです。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） タクシー券、タクシー・バスの利用を、早速消費税の関係に対応して予算を組んでいただいて、ありがたいと思います。

配食サービスのほうをちょっとお聞きします。前回80人の予定で組んでありました。ことし75人で、どちらかというとなんか減りぎみなんですけど、これはちゃんと別なところで保護しているというか、埋めているのかな。余りふえていないというのは、どういうあれでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 配食サービスにつきましては、サービス調整会議という形で内部のほうで検討しまして、その方に本来的に必要かどうか、その辺も含めていろんな形で審査しまして決定しておりますので、このような状況となっております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） それから、ミニデイサービスなんですけど、これは年何回ぐらいやっているのでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） まだ年度の途中ですので、25年度の実績は出ていませんが、24年度の決算でいきますと、延べ243回になります。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 1人当たりというか、何回ぐらいになるわけですか。243回は全部ですよね。1人当たりだと年何回になる予定、年1回ということですか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 月に2回ほど利用していただいているんですが、人によっては体調で休んだりしますので、1人何回ということは言えませんがね。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 014の高齢者と子どもの帰り道ふれあい事業が、かなり前年に比べればふえていますよね。これはかなり何というか、期待しているというか、やってほしいということで、これだけ県のほうでも出しているということなんですけど、状況と、それからどういったところをふやしていくのか、回数をふやすのか、場所をふやすのか、それともやる人の状況をふやすのか、ちょっとその辺の状況、ふやした内容ですね、ちょっとお聞かせください。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 前年と比べまして、協力の地区は減ってきているんですが、協力していただける人数が多少ふえているということになっております。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） これなんですけれども、これはあくまでも協力してくださる方がいての話なので、なかなかニーズというか、ここはもっと本当はふやしてほしいんですけども、ニーズとはまた別に、協力してくださる方が多いところがふえてという形なんですよね。だから、やっぱりその辺の調整というか、そういうのというのは分析するというか。

それというのは、例えば交通安全指導課、生活安全課でしたっけか、ああいうところとの協議とか、何かそういったことはしているんですか、できないんですかね。あくまでも、ボランティアという形でやるんですか。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） この事業につきましては、高齢者のほうのボランティア的な事業でございますので、やはりそういった何ていうんですか、交通安全の、そういうことだけをやっているわけではございませんで、ふれあいを主の目的としておりまして、また、あと立っていることによって、いろん事件、事故等の抑制というか、そういう効果もあると思いますので、そのような形で、交通整理を主にやっているわけではございませんので、その辺ご理解願いたいと思います。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） そうすると、やっていらっしゃる方たちに指導はしないのかもしれないんですが、洋服の貸与とか、そういったことかなと思うんですが、注意事項としては、例えば何かあった場合にかかわらなくていいという、そういうことじゃないですよ。その辺のところを聞きたかったんです。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 先日もその関係者の方の会議がありまして、そういったご質問も出ましてですね。やはり、そういう帰り道の際、不審者が切りつけてきたり、そういった場合にどうするかということをおっしゃいましたが、やはりまず自分の身の安全というのも大切です。ですから、またあと児童のもちろん身の安全というのも大切です。ですから、その方が、高齢者の方ができる範囲のこと、例えば何か物を持っているのであれば、その物を使って防ぐとか、また、大きな声で誰かに助けを呼ぶとかですね。ちょっとその辺を、私たちのほうでこういうふうにしるというマニュアル的なものはございませんけれども、とにかくそういった方が出た場合には、その人ができることを考えていただいてやってもらいたいかなというふうにはちょっと今のところは考えております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） これは今後の課題だとは思いますが、何もなければいいけれども、実際には凶悪な犯罪も出ていたり、それから捕まっていない人もいますよね、実際にはいろいろあって。だから、そういうことを考えたら、安直には考えられないなど。ボランティアでありがたい抑制力というのにはなるけれども、いざというときには困るんだろうな。そこまでやっぱり考えていただきたいし、連携とかですね。本当に危ないようなところは誰か立っていただくとか、そういったことも長寿推進課としては考えたほうがいいかななんてちょっと思ったんですけれども、その辺は今後どうですか。ただ、これをそのまま続けるという感じですか。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 児童・生徒の帰り道ということになりますと、やはり教育委員会のほうが所管しておりますことですので、私たちのほうとしましては、高齢者がそういった児童・生徒とふれあう機会というのを出したり、また、そういう抑制力なんかをボランティア的にやっているもので、児童の下校の安全性を長寿推進課のほうでしているわけではございませんので、ぜひ連携してやっていくわけですが、その辺はちょっとご理解を

お願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） その辺の、何のためにやっているかというところをはっきりさせておかないと、やっぱり何かあったときはそれじゃ済まないというのが感想です。というのは、やっぱりお母さん方、父兄がね。本当は登下校というのは父兄の責任なんですよ。けれども、今の方たちという言い方はちょっと語弊がありますが、やっぱり誰かが立っていると、もうその人が仕事でやっているみたいな感覚で、何でうちのところ立たないんですかみたいな質問がすぐ出てくるんですよ。だから、やっぱりその辺のところはしっかりしていかなきゃならないので、よく教育委員会なんかと連携とる必要があるかなと思います。

以上です。要望です。

○委員長（長谷部 集君） 意見でよろしいですね。

その他質疑ございませんか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 009の一般管理費、第7次高齢者保健福祉計画・第6次介護保険事業計画の策定事業であります。この概略が完成するのはいつごろになるんですか。もう出ている。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 現在、この計画につきましては、まず高齢者等のサービスを利用している方のニーズ調査を1月の中旬から行いまして、1月31日で締め切ったわけでございますけれども、その辺のニーズ調査の関係を今取りまとめておりまして、それがまとまり次第、今後の関係するところと協議に入っていきます。12月の終わりぐらいまでには計画の素案というのを固めて、また議会のほうに逐次お示ししたりして、来年の2月前、1月ぐらいには完成という運びで今のところ考えております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 今からの取り組みでありますけれども、特にこの7次・6次の特徴というか、第6次と5次の違いというか、そういったものについては、今わかっている範囲で、こういうところが特徴があると、もしお答えができたらお願いをしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 今現在、法改正の中で言われておりますのは、やはり幾つか法改正の内容、具体的なものがございますけれども、例えば高所得者の方の利用料の2割負担とか、またあと特別養護老人ホームの要介護度のこととか、ヘルパーとデイの市のほうの事業となるような主な3点がございますけれども、そのほかにやはり2025年、75歳以上の高齢者が相当ふえると思われる今から11年後の2025年に向かひまして、そこで在宅で生活できるような仕組み、地域ケアシステムの構築と申しますけれども、それをこの計画の中に盛り込んで、長期的な視野に立って計画を定めていくということが一番の重要事項となります。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 014の老人クラブの活動補助金が若干、昨年の予算と比較すると減っておりますけれども、現在、老人クラブのクラブ数が減っているのか、会員が減っているのか、その辺の現状についてわかっている範囲、教えていただけますか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 老人クラブにつきましては、委員のおっしゃるとおり、クラブ数も減っておりますし、それに伴ってクラブ員の人数も減ってきております。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 現在、老人クラブのクラブ数は幾つになりますか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 63クラブになります。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 昨年は66だと思ったんですが、3クラブ減っていると。この減っている地域は、3地区のところどこが減っているんでしょうか。

〔「それはわからない」と呼ぶ者あり〕

○委員（樋泉明広君） じゃ、その減っている原因についてだけ教えてください。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） やはり、老人クラブにつきましては、現在の65歳以上の方というのは非常に若いですし、また、いろんな活動されておりました、やはり65歳過ぎてても老人と呼べるような方でないような若い方たち多いですので、そういった活動にどうしても入らない方がおりますので、私たちのほうも今後これにつきましてはいろんな方面で検討

しまして、ぜひそういう活動が活発にできますように、うちのほうも何か考えていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 何ですけれども、うちの自治会なんかは、自治会よりも長寿会のほうが活発に動いているというふうな状況も見られるんですよね、事業も多くて。そういう点では、老人クラブの皆さん、老人という言葉自体がやっぱり抵抗があるのかもしれませんが、うちは長寿会というんですが。やはり、補助金です。今現在、1団体に対してどのくらいの補助金が出ているんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） クラブに対する補助金は、クラブ員の人数に3,526円を掛けたものになります。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 平均でどのくらいになりますか、1クラブ。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 構成のクラブ員が100人のところもあれば、5人というところもありますので、平均というのはなかなか難しいんですけれども、よろしいですか。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 昨年度、平均で8万2,000円くらいだったんですがね。いずれにしろ、補助金が年々減っているような傾向はないんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 基本的な金額等の単価は変わっておりませんが、やはりそういった形で人数とかクラブ数が減っておりますので、全体的には減少しているということでございます。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） じゃ、今現在、人数はどのくらいでしょうか、直近でいいですけども。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 25年度、全体の人数で2,175人です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） そうすると、前年度と比較すると約80人くらい減っているということではよろしいでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 78人の減です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 委員長、私が言いたいのはですね。先ほども言いましたけれども、自治会よりも長寿会の皆さんのほうがなかなか活発にやられていると、いろいろ活動しているんですよね。ですから、できるだけやはり長寿会、老人クラブの皆さんへの手当て、これを十分に考えていってほしいなと、こういうことを言いたいんですよね。また、ねんりんピックとか、いろいろ運動会なんかもやっているようですけども、こういったところへのやはり手厚い指導と手厚い補助、ぜひ出していただきたいなと、これは希望です。

011の在宅福祉事業の中の先ほどもちょっと話に出ましたけれども、配食サービスの事業で、75人に対してですが、この配食サービスの事業の対象者のひとり暮らしのお年寄り、あるいはどういう条件で配食サービスの対象者をされているのか、そこを教えてくださいませんか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 配食サービスの対象者ですが、みずから調理することが困難な方ということの中で、65歳以上のひとり暮らしの方、それから65歳以上で構成される世帯ですから、夫婦で65歳もしくは親子で65歳、そのような方に対して配食のサービスを行っております。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

その他質疑ございませんか。

池神委員。

○委員（池神哲子君） 011の軽度生活援助事業、ちょっとお伺いします。

1人3カ月、前年は6カ月だったけれども、対象者がいなかったということですけども、この軽度生活援助事業というのは、どんなことを具体的にやっていますか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 在宅でひとり暮らしで虚弱な高齢者の自立した生活の継

続をしていただくための日常生活の援助を行う事業でございます。

○委員長（長谷部 集君） 池神委員。

○委員（池神哲子君） 日常生活というのは広いんですけども、査定が厳しいからこういうふうになっているのか、それとも全くそういうことがわからないから申し込みがなかったのか、どちらですか。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） この事業につきましては、虚弱とか在宅ひとり暮らしとかという要件がございまして、そのほかに介護保険の対象とならない方という規定がありますので、ほとんどの方が介護保険の適用になりますので、適用にならない微妙な方という形になりますので、ほとんどの方は介護保険の今、要支援とか対応になりますので、今のところいないという形でございます。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 池神委員。

○委員（池神哲子君） 軽度生活援助というのはとってもいい項目だなと思ったんです。それで、高齢者になると、生活がしづらいわけですよ。誰かがいれば元気がつくということで、この軽度生活というのがよくはつきりわからなくて。でも、せっかくこういうふうに予算とってもらったわけですよ。もっと活用して、積極的に進めてほしいなと思っています。今言った中での、これをうまく活用してほしいと思います。要望です。

○委員長（長谷部 集君） 要望です。

その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） ないようですので、所管以外の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 011の友愛訪問事業なんですけれども、前年度よりも30人くらいふえているんですけども、これ、対象者というのはどのくらい——対象者というんですね、ひとり暮らしの。500人がどのくらいの割合なんですか、教えていただけますか。

○委員長（長谷部 集君） 実際の対象者という……

○委員（清水正二君） 実際のひとり暮らしの人がどのくらいいて、そのうちの500人というのはどのくらいなのか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 24年度の決算のベースでいきますと、440件になります。

○委員長（長谷部 集君） 清水委員。

○委員（清水正二君） それは、いや、今、ヤクルトを配っている家が400ということでしょう。じゃなくて、ひとり暮らしの対象者というのが何人いるか。500人というのは、そのうちのどのくらいの量なのかということを知りたいんです。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 失礼しました。

甲斐市のひとり暮らし高齢者の人口ですが、高齢者の基礎調査で65歳以上、2,912人になります。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 75歳以上ですと1,583人です。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 予算的には前年度よりもふえているんですけども、現実のところ、今、ヤクルトを配ってもらっている対象者というのは年々減っているような気がするんですが、そこら辺のところはどうなんですか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 24年度と比較しまして、若干ふえてはいます。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

その他質疑ございませんか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 参考にちょっとお聞きしたいんですけども、011の在宅福祉事業、これにかかわっているというか、職員の数ですよね、わかったらちょっと教えてもらいたいです。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） この事業に対しましては今現在、うちの課の職員以外にも例えば社会福祉協議会、またあとボランティアの方等がかかわっております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） もちろん、職員は、指導的な立場の人はいるわけですね。何人ぐらいおられるんですか、ここへ実際かかわる。なかなか難しいでしょうけれども、いろいろなことがあるから。

○委員長（長谷部 集君） 市の職員。

○委員（有泉庸一郎君） うん、市の職員。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 今現在、こちらのほうは係員が今、臨時を含めて担当が4人おりまして、そのほかにもほかの係のほうでも、場合によって、事業によっていろいろかわりがございますので、何人と言われるとちょっとあれですけども、課としてはこの事業にかかわっております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 何でこういうことを聞いたのかというと、課長、さっき2025年に向けてという、在宅のほうをというような答弁ありましたよね。そうであれば、もっと僕はそういう職員の方をね。今聞くと、ボランティアの皆さんとか社会福祉協議会とか、いろいろなところから協力してもらって多分やれているんだろうと思いますけれども、そういう方向に向けてであれば、やっぱり予算措置としては、職員の数を多少こっちのほうへふやすとか、そういうことも考えているのかなと思ったから、今ちょっとそういう質問させてもらったんですが、どうなんですか。その辺は十分間に合っているんですか。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） この事業につきましては、市単独で行っている事業でございますけれども、管理するほうの立場の職員のほうはもちろん間に合っておりますけれども、今後この事業につきましては、やはり今回の計画策定とあわせて精査をしまして、必要なものは拡充したり、また、ちょっと軽減とかしていくような事業につきましても精査をしまして、また、社会福祉協議会とやはり連携をとる事業が多いですから、そこの話し合い、検討を行って、またこの事業につきましても全て精査していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 小さいことで申しわけないんだけど、先ほど、老人クラブの活動補助金の中で、人数が2,175人と言いましたよね。それに単純に三千何がしというのを掛けると、この金額にはならないですよ。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） それに12カ月を掛けていただければ、月に。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 老人クラブのほうの補助金としましては、市単独で支出しているものがございまして、地域環境美化活動費としまして63クラブに3万円、単位老人クラブ3,526円の63クラブ掛ける12、266万5,656円、連合会加入クラブ会員2,175人に対しまして72円、15万6,600円、そのほか連合会のほうに19万4,000円、特別事業としまして30万円という形で、それだけ支出しておりますので、よろしくをお願いします。

○委員長（長谷部 集君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） それで内訳わかれば。ただ、人数に三千何がし掛ければと言うからわからんようになっちゃったので聞いたんだけど、すみません。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

名取委員。

○委員（名取國土君） ちょっと13ページのねりんピック参加費とあるんだけど、これ参加者はどのくらいいるか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 今年度、平成25年度の参加者が合計で146人いらっしゃいました。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 146人の参加者に何か、交通費とかなんとかを支給しているんですか。

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） ねりんピックに参加していただいた方に食事代と交通費ということで1,000円を支給しております。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 前に何か、結構前なんだけど、食事とお茶をとかと言ったんだけど、そうじゃなくて1,000円ということでもいいんですか。

○委員長（長谷部 集君） 現金で渡しているかということですか。

○委員（名取國土君） どういう、1,000円相当の、要するに参加……

○委員長（長谷部 集君） 土屋係長。

○長寿あんしん係長（土屋達巳君） 委員おっしゃるとおり、以前は食事とお茶ということで届けていたんですが、各団体に対しまして交通費、食事ということで、自由に使えるようにということで1,000円、現金をお渡ししております。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） わかりました。

じゃ、ちょっともう一つ、その上の欄で、100歳で5万、33人、それからその下の以上で、100歳になれば10万で14人とあるんだけど、その下の77歳、88歳、それから100歳と来ているんだけど、98歳ぐらいにはないんですか。そうはいつでも、88から90幾つとなると、これはすごいもんですよ。ここで長生きするか、100いくか、そのところはどうか、将来的に。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 以前はこういった年齢だけじゃなくいろいろな、年齢支給額も多かったんですけど、やはりちょっといろんな行革とかそういうものの対象になりまして、今こういう形で精査しておりまして、また、ほかの市町村に関しましてもやはりこれを縮小していくような方向に向いていますので、ぜひご協力のほうをよろしくお願いします。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） ぜひ、また早目にしてもらいたい。100歳のこの10万というのは、よそに比べればうちは安いほうですよ。

○委員長（長谷部 集君） 三澤課長。

○長寿推進課長（三澤 宏君） 県内の状況等も調べてございますけれども、やはり高いところはもちろん高いところございますけれども、甲府なんかと比較しますとうちのほうが高い状況でございます。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） それ、甲府と比べれば人数違うと思うんだけど、でも、甲斐市は甲斐市なりに、97歳もあつたほうがいいじゃないかと思うんだけど、また、ぜひよろ

しく。

○委員長（長谷部 集君） 要望として。

その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） ないようですので、以上で第3款民生費のうち、長寿推進課所管事業の社会福祉費について審査を終了いたします。

ここで暫時休憩して、職員の入れかえを行います。

休憩 午前10時09分

再開 午前10時12分

○委員長（長谷部 集君） それでは、会議を再開いたします。

説明、答弁につきましては、簡潔にお願いいたします。

次に、第3款民生費、第2項児童福祉費のうち、児童福祉総務費から母子福祉費について説明を求めます。

三井子育て支援課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 連日のご審議、ご苦労さまでございます。

子育て支援課に関連いたします平成26年度の当初予算について説明をいたします。

予算説明書は78ページから、予算審議資料の14、15ページに関連いたします主要事業が掲載してございます。

3款民生費、2項児童福祉費につきましては、予算総額42億4,971万7,000円で、前年度に比べ4億5,954万6,000円の減額となっております。減額の要因につきましては、平成25年度には敷島保育園、それから竜王北保育園、竜王西保育園の建築工事費の計上があったことによるものであります。なお、敷島保育園、敷島子育て広場の外構工事費、竜王北保育園、竜王西保育園の建築工事費等につきましては、平成25年度中に補正をお願いいたしまして、7億5,461万1,000円を繰越明許の手続きをとらせていただいております。

それでは、別冊の予算参考資料ナンバー5に基づきまして、1目児童福祉総務費から説明いたします。

予算参考資料は7ページをお開きいただきたいと思います。

001児童福祉関係職員費8,709万2,000円は、子育て支援課の正規職員12名分の人件費であります。

002児童福祉関係嘱託・臨時職員費1,327万1,000円は、嘱託職員の家庭相談員2名とファミサポ、それから子育て広場の臨時職員3名分、また、原課採用の臨時職員、延べ1名分になりますが、これの人件費であります。

財源内訳であります。国・県支出金244万8,000円につきましては、安心こども基金の事業費補助金で、ファミサポ及び子育て広場の人件費に充てておるものであります。

次に、010児童福祉諸費であります。1億7,904万1,000円です。一般事務費につきましては、保育園の個別、それから運営費を除く事務経費、職員研修経費、それから公立・私立の園児の学校安全会の掛金などです。

また、睦沢地区園児の通園タクシー経費、これは利用者4名を見込んでおりますが、これと民間保育所運営費補助金、交付要綱に基づきまして吉沢立正保育園に交付いたします通園バス補助金です。

保育園建替事業1億7,506万4,000円には、旧園舎の解体工事等の敷島保育園建替事業に2,520万9,000円、それから外構工事、太陽光発電設備工事等を行う竜王北保育園建替事業に6,696万6,000円余り、それから同じく外構工事、太陽光発電設備設置工事、地中熱設備設置工事等の竜王西保育園建替事業に7,951万6,000円余り、新たに現敷島幼稚園敷地に建てかえを予定しております松島保育園の建てかえに係る拡幅の用地、それから買収準備経費として337万3,000円余りを計上したところであります。

財源内訳の国・県支出金5,654万9,000円につきましては、竜王北・西保育園の外構工事に社会資本総合交付金を3,654万9,000円、竜王北保育園の太陽光発電設備工事にグリーンニューディール基金補助金を2,000万見込んでおり、市債4,250万円につきましては合併特例債を充てております。また、その他財源1,093万6,000円は、竜王西保育園地中熱設備設置工事の地域再生可能エネルギー導入促進事業によります一般社団法人新エネルギー導入促進協議会からの補助金と督促手数料を見込んでおるところであります。

011こども医療費助成事業2億6,308万9,000円です。こども医療費助成制度は、通院、入院とも小学校6年生までの窓口無料化とするもので、対象者約9,000人を見込むところであります。

財源内訳の国・県支出金6,491万6,000円は、補助率2分の1の乳幼児医療費助成事業費補助金6,175万4,000円と支給事務費補助金の361万2,000円です。また、その他財源

5,400万1,000円につきましては、サテライト双葉等によります地域振興基金繰入金5,400万円と、こども医療費返還金があった場合のための存置としての1,000円となっております。

続きまして、012次世代育成支援対策事業554万7,000円であります。これは、ファミリーサポートセンター事業と乳幼児のための教室や、お母さんの情報交換の場所であります子育て広場事業の運営経費であります。特に、子育て広場事業につきましては、現在は竜王児童センター2階と敷島総合文化会館で事業展開しておりますが、敷島保育園に併設いたしました新しい施設が完成し、年度途中に移転いたしますことから、会議用のテーブルや整理棚など事務用備品や事務用品などをお願いいたしますものであります。

次の子育て教室と子育て川柳事業であります。教室の実施委託料、平成21年度から子育て保護者向けに編さんしております「子育て川柳」に係る経費であります。

最後に、子育て短期支援事業であります。敷島地区の乳児院ひまわりに委託しております7泊以内の預かり、ショートステイの事業経費であります。

財源内訳の国・県支出金は、安心こども基金79万6,000円であります。

013家庭児童相談室設置事業4万3,000円は、事務消耗費品と県家庭児童相談員連絡協議会の負担金であります。

014ちびっ子広場設置事業756万8,000円は、市内100カ所のちびっ子広場の維持管理経費であります。主な工事関係につきましては、大栄区、それから大屋敷区のちびっ子広場遊具設置工事や登美団地地区の複合遊具修理などがございます。

財源内訳のその他財源は、ふるさと基金があった場合の存置としての1,000円を充てております。

次に、018子育て支援総合施策事業471万1,000円ありますが、子ども・子育て会議に係る経費と子ども・子育て支援事業計画策定業務の委託経費であります。

8ページをお願いいたします。

019養育医療費助成事業396万4,000円につきましては、出生体重2,000グラム以下及び2,000グラム以上でありましても生活力が特に脆弱でありまして、医師が入院療育を必要と認めた場合、指定医療機関におきまして出生から退院もしくは満1歳の誕生日の前々日までの自己負担分の医療費を対象といたしまして、全額助成する事業であります。

財源内訳、国・県支出金の297万円は、補助率2分の1の養育医療費国庫負担金と補助率4分の1の養育医療費県負担金であります。

次に、020子育て世帯臨時特例給付金給付事業1億1,671万6,000円あります。これは、

福祉課のところから説明がありました臨時福祉給付金、いわゆる簡素な給付措置と同様でありまして、この4月からの消費税率引き上げに際しまして、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置として実施いたすもので、児童手当の上乗せではなく、別給付として行う事業であります。平成26年1月1日を基準日といたしまして、1月分の児童手当受給者でありまして、平成25年の所得が児童手当の所得制限額に満たない者を対象といたすものでありまして、給付額は臨時福祉給付金同様、対象児童1人につきまして1万円であります。

本市におきます給付見込み児童数は、1万1,000人を見込んでおります。おおむね8カ月分を見込む事務補助員の賃金、社会保険料に126万2,000円、消耗品、通信運搬費等に545万4,000円、給付に先ほど言いました1万円掛ける対象人数でありますので、1億1,000万円の計上をお願いするものであります。

なお、財源内訳につきましては、全額国からの補助金で国・県支出金であります。

引き続きまして、2目児童措置費について説明いたします。

予算説明書80、81ページ、予算参考資料9ページをお願いいたします。

001児童手当14億250万1,000円は、中学生まで1万575人に支給いたすことを見込む手当14億250万円と、申請と実績の差であります国庫返納金の存置1,000円であります。

財源内訳につきましては、国・県支出金は、児童手当負担金国分の9億7,910万円と県分となります2億1,170万円の合計11億9,080万円であります。また、その他財源は、児童手当返還金存置1,000円であります。

002児童手当支給事務費136万1,000円であります。これは、現況届の案内通知等の郵送料など事務経費であります。

次に、3目母子福祉費であります。

001ひとり親福祉事業は、5,729万3,000円をお願いするものです。この事業につきましては、ひとり親家庭に対しまして支援を行うもので、母子家庭自立支援事業は自立支援教育訓練給付金と母子家庭高等技能訓練促進費給付金で、就職支援の観点から、多種にわたる技能教育から看護師や保育士などの資格取得まで支援を行うものであります。

ひとり親医療費は、18歳までの子供とその保護者を対象にいたしまして、623世帯、1,556人を見込んでおります。

入学祝金につきましては、小学校入学と中学校入学時にそれぞれ1万円、中学校卒業時に2万円支給するもので、対象者を180人見込んでおります。

財源内訳の国・県支出金は、母子家庭等対策総合支援事業費補助金435万4,000円、ひとり親家庭医療費補助金2,337万1,000円、ひとり親家庭医療費支給事務費補助金94万4,000円を見込んでおります。また、その他財源は、返還金があった場合の存置1,000円であります。

002児童扶養手当支給事務費25万円は、児童扶養手当支給に係る事務費、事務経費であります。

003児童扶養手当3億3,883万9,000円です。離婚、死亡等でひとり親世帯の18歳までの子供がいる世帯に支給されます手当でありまして、平成26年度の対象を735世帯見込んだところであります。また、国庫返納金は、申請額と実績額の差で存置1,000円であります。

財源内訳の国・県支出金の1億1,294万6,000円は児童扶養手当給付費負担金で、その他財源は児童扶養手当の返還金であります。

004助産、母子生活支援事業80万円は、生活困窮の母子家庭で出産があった場合の助産施設措置費と母子生活支援施設措置費、それぞれ1件分を見込んでございます。

財源内訳の国・県支出金60万円は、国分の児童保護措置費負担金40万円と県分の20万円です。

以上、児童福祉費のうち、1目児童福祉総務費から3目母子福祉費までであります。よろしくご審議お願いします。

○委員長（長谷部 集君） 説明が終わりました。

先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 011のこども医療費助成事業についてお伺いいたします。

今回も9,000人対象ということなんですが、ちなみにお伺いしたいんですが、今、窓口無料化ですね。それで、試算があればですけれども、窓口無料化の、これは6年生までなんですけれども、中3までにした場合の試算、幾らぐらいになるという試算があるか、中3。まずそれをお伺いします。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） こども医療費につきましては、議員さん方からご質問等を受けております。ただいまご質問の中3まで拡大した場合ということで、直近の数字で試算いたしましたところ、一般財源の持ち出しが5,300万余り、5,400万近くの持ち出しになるんじゃないかということで試算をしているところであります。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） それでは、もし窓口無料化ではなくて、償還払いですか、あれにした場合の中3までの試算があれば教えてください。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） お答えいたします。

中学生まで、未就学児につきましては窓口無料化が県の制度でありますので、それは今の同じということで。それから、小学生、中学生を償還払いに変えた場合、市単の部分を償還払いに変えた場合につきましては、今の持ち出しよりも900万から1,000万程度の負担になるんじゃないかということで試算しております。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 今のというのは、現在の窓口無料化よりも償還払いにすれば1,000万近く、中学3年生までやっても減るんじゃないかと。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） すみません。今の金額よりも1,000万円増えるんじゃないと、中学生までやった場合には1,000万円程度ふえるんじゃないかというところであります。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 償還払いですね。わかりました。

児童扶養手当のところなんですけれども、支給事業で……、ちょっともう一回考えてからにします。すみません。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 関連で、011のこども医療費の助成事業であります。今、全県的には、例えば入院、外来、それぞれどのくらいの市町村で中学生までの医療費の無料化をされているか、教えていただけますか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 現在のところあります。北杜市のほうがまた検討しているようでございますが、現在、私どもつかんでいる数字であります。中学生まで入院・通院窓口無料が16市町村、これは富士吉田、都留、韮崎等であります。小学生から中学生まで入院・通院が償還払いでしているところが2町村で、早川町、丹波山村。中学生まで入院のみ償還払いが3市ございまして、山梨市、大月、甲州、小学生窓口無料化、これは甲斐市を含めます甲府、南アルプス、中央、昭和で5市町、北杜が9歳までということで窓口無

料化をして、27市町村となっております。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 先ほどの話だと、中学生までの医療費を無料化にすると5,300万から5,400万ということではありますが、このくらいの財源は十分、予算の組み替えをやればできるんじゃないかな、こんなふうに思いますけれども、いかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 一般質問のほうでもお答えしたところでありますが、まず5市町につきまして、甲斐、甲府、南アルプス、中央、昭和、県内では半分以上の人口を有するところであります。それがまだ小学生までの窓口無料ということで行っているということで、この全体を見ながら甲斐市としても行わなきゃいけないのかなというのが1点でありまして、東京都内、東京23区全て中学生まで窓口無料を行っているということではありますが、現在の動向といたしましては、それ以上進めるというよりも後退をしたいという、財政的なもの、それから世間に広まる波及効果を考えて、ある程度小学生まで、あるいは未満時までというふうにしたいという動きがございます。ただ、それになれてしまっていてできない状態ということなので、その辺も考えながら、あるいは世界に誇ります日本の国民全員保険、健康保険ですね、その制度を壊さない程度にやっぴいかなきゃいけないのかなと思っています。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） ぜひ政府にですね。今、国でやっているのは乳幼児でしょう。やっぱり小学校6年生までを医療費無料化にするという要望と同時に、中学生までということになれば、国のほうの補助を大いに受けられるわけで、ぜひ国・県に要望してもらいたいなど、こんなふうに思いますけれども、部長、いかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 笹本部長。

○福祉健康部長（笹本嘉朝君） 課長が答弁しましたように、周辺を見ながら、また、甲府市等の様子を見ている部分もございますので、そういった対応を踏まえて、また今後については考えたいと思います。

以上でございます。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 8ページの020の子育て世帯臨時特例給付金の給付事業ですけれども、これは消費税の影響による何ていうか、負担を減らそうということ出されるわけですね。

ども、先ほどちょっと聞き漏らしたんですが、この特例給付金は1回のみでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 1回のみ支給であります。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 1回のみだということになれば、消費税が1回、1年間続いて、次はまたもとへ戻るということであれば、これは納得いくんですが、消費税増税はずうっと続くんですよね。やはり、これは国のほうに、ぜひ年間を通してやってもらおうと、消費税が下がるまでやるような手当をしないと、これを1回こっきりじゃほとんど何というのかな、消費税増税のための口実にすぎないというふうに言っても過言ではないんじゃないか、こんなふうに思うんですよね。部長さん、いかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 笹本部長。

○福祉健康部長（笹本嘉朝君） 答弁が非常に困るところでございまして、国のほうでは法律等に基づきましてやっている内容でございまして、少なくとも選ばれた議員さんたちが決めた内容だと思っておりますので、答弁については差し控えさせていただきます。

以上でございます。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） もう一つ、9ページの児童扶養手当ですけれども、この児童扶養手当については、735世帯であります。昨年度と比較してどのくらいになっているんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山係長。

○児童係長（小宮山正美君） ご苦労さまでございます。

児童扶養手当でございますけれども、平成26年が735世帯というふうな見込みをしております。平成25年度は741世帯、平成24年度は689世帯でございました。

以上でございます。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） この児童扶養手当については、昨年度と比較して、手当のほうは変わらないでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山係長。

○児童係長（小宮山正美君） 手当の金額でございますけれども、昨年度と金額の変動はございません、同じでございます。その以前は、児童扶養手当のほうなので、金額の変動は、そ

の時点の社会の情勢を見まして、金額の変動等のどのくらい変動があるかということは国・県のほうから連絡が来ますけれども、今のところ変動のほうはありません。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 2014年だから、ことしの4月からは0.7%引き下げられると。実際には、2013年度の物価上昇率の0.4%を反映して0.3%の引き下げ、月額120円から130円の減額になるということを聞いているんですが、そういうことはないですか。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山係長。

○児童係長（小宮山正美君） すみません、金額については、ちょっと今のところ、こちらのほうに正しい金額の連絡等が来ておりませんので、またその連絡等を見まして、金額のほうに随時反映させたいと思っております。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 昨年の10月にも0.7%下がっているんですね。それも含めて、後で教えてください。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） ないようですので、所管以外の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

坂本委員。

○委員（坂本一之君） 先ほど来から、こども医療費のことがいろいろ出ておりますけれども、以前、私も中学生の入院だけをやってくれないかということで、部長のほうに一般質問したら、前向きのような回答をいただいたような気がするんですけども、なぜ入院だけかといいますと、中学3年生全てを無料化にすると、安易なけがでもすぐ病院に行ってしまうお金がかかってしまうということで、入院ならば本当に入院する人しか、大きなけがとか、そういうのしかできないからということで、何とか700万ぐらいで年間済むというようなことの試算もお答えをもらっておったんですけども、これはだめだったということですかね、部長。

○委員長（長谷部 集君） 笹本部長。

○福祉健康部長（笹本嘉朝君） 今、試算している金額でいきますと、確かに委員のほうでおっしゃられましたような比較的低い部分もございますが、当然周りの市との関係、また安易な部分での医療費の増加という部分等も踏まえる中で、今のところ明確な答弁がちょっとで

きないんですが、今のところまだ困難な状況でございます。

以上でございます。

○委員長（長谷部 集君） 坂本委員。

○委員（坂本一之君） 安易な入院ということは多分ないかと思うので、入院するので。よっぽどのけがとか病気だと思いますので、その辺はぜひとも検討していただきたいと思いますし、先ほど来からほかの委員さんも言うておりますけれども、これはトップが決めることなので部長たちとかでは難しいかと思っておりますけれども、エアコンの問題もあるので、医療費を助成をするのか、いよいよ厳しい選択を迫られるような時期になるかと思っておりますので、引き続き中学生のほうの入院のほうは先駆けてやっていただきたいなと思っておりますので、これは要望で結構です。

○委員長（長谷部 集君） 要望です。よろしくお願いします。

その他質疑ございませんか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 先ほどの7ページの保育園建替事業の中で、松島保育園の建てかえについて333万7,000円という予算を盛ったとありましたけれども、その建てかえに関する跡地を含めて、どんなことで進めていく上でこれを盛ったかと、その辺の説明をちょっとお願いします。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 松島保育園の建替事業につきましては、お示しいたしましたように、今の敷島幼稚園の跡地に建てかえを検討しております。ただ、幼稚園の敷地が、ご案内のとおり、ご神木というのか大きな木がございまして、建てかえをするのに非常に土地利用が難しいのかなというところがあります。それで、隣接いたします一部建設業を営んでいるところの用地を買収を検討していきたいということで、その不動産鑑定、それから事務所がありますので、建物鑑定、それで移転の補償費の算定の業務を見込んだところであります。

○委員長（長谷部 集君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そういう計画で進めているわけですがけれども、あと年次的な、何年ごろまでどうやってどうだという計画があると思うんです。用地を確保するという段取りをするということは、いつまでにかえて、建てかえてと。保育園の計画の中で掲げる保育園計画というのかそういうもので、長期計画の中で示されているものがあるじゃないですか。27年

度に保育園は廃園になるんですよね。そうすると、その過程の中で、市としてはこうやって用地確保するというのであれば、それなりの計画は組んでいると思うんです。その辺の大まかな概略というか、その辺はどの辺まで。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） おっしゃいますように、敷島幼稚園が27年度いっぱい閉園ということですので、28、29をかけて建設を考えたいということで。また、補助対象になることを見込むといえますか、お願いをする中で、有利な交付金等を利用していきいたいと考えておるところでございます。

〔「わかりました」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 9ページのひとり親福祉事業、母子家庭自立支援事業ですが、これ件数、人数など、想定される数があれば教えてください。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 母子家庭自立支援事業であります。自立支援教育訓練給付金、これは簡単な講座なんかを受ける場合なんです。これにつきましては2人、それから高等技能訓練費の給付金につきましては、継続の方もいらっしゃいますので、それで新たな方も見込みまして、5名ということで想定をしているところであります。

○委員長（長谷部 集君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 実際に自立に結びついているケースというのは、ある程度あるのでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） この事業につきましては、各委員会等でまた厳しいご意見をいただいたところではありますが、私ども給付する立場のほうで面談する中で、ぜひこれを使って就職していただきたいということを切にお願い、あるいは指導しているところでもありますけれども、なかなかこれを生かすということが、全て生かすということはありません。ただ、今、昨年、これを使って習得した方につきましては、生かして就職された方もございます。全てが生かしているというわけじゃございません。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

名取委員。

○委員（名取國土君） ちょっとお聞きしたいんですけども、今、9ページの新入学祝いで180人対象者で、1人1万円とあるんですけども、中学生になると、服かなんか等五、六万かかるということで、それと自転車通学になると、それ買うとしたら10万ぐらいかかっちゃうということで、そんなことを聞いたんですけども、これは中学ぐらいになったら少し上がる、補助金が出るような対策はないんですか、そのところはどうなんですかね。ずっとこれ同じですよ。ちょっとそれを。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） この補助金につきましては、県の補助金とリンクしている部分もございまして、上乘せ分もございまして。ですから、事務事業の見直しで私ども考えているのは、今、委員さんおっしゃった、中学校卒業時には県の補助金ございませんので、そこに厚くして、小学校のところは薄くしてもいいのかなというふうな検討をしております。

委員さんおっしゃるように、就学あるいは就職に対する補助というのは、まず1つが、就学援助が学校のほうにはございまして、入学金の援助、入学の準備金の援助等もございまして、その辺も加味しながら、もう一度この補助の見直しというのも必要かなと考えているところですので、ご理解をお願いします。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） いい返答をいただきまして、ありがとうございます。ぜひ早目に、やるんだったらやっていただきたいと思います。要望でいいです。よろしくをお願いします。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません、7ページの010、先ほど内藤委員からも出ました話なんですけれども、保育園の建替事業につきまして、先ほど課長の説明ありました。太陽光なんかはわかりますけれども、地中熱のシステム、これ保育園、今まで東保育園をやったと。それで、今回のこの地中熱に対しては、西、北を使うんですか、そのシステム。その辺はいかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 地中熱のシステムにつきましては、おっしゃるとおり東で行っております。今回は西と北を検討したわけなんですけど、西保育園のほうは地形的に、今回井戸水を使うということで、井戸水の利用が比較的しやすいところだということで、西保育園のほうに採用したところであります。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません。西保育園のほうで使うということなんですけれども、このシステムを何に対して利用していくのか。この辺は、今まで東保育園の前例もありますから、どんなシステムとして活用していくのか、その辺はいかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） まず、このシステムにつきましては、1階の保育室3部屋の冷暖房システム、エアコンに対して使うものであります。内容的には、これは太陽光と違いまして、エネルギーを生むものではございませんで、環境に優しくというか、使った量のおおむね3割減を見込んでいるシステムでありまして、使った分の3割減の電気の投資でエアコンのシステムが働けるというところを見込んだものであります。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） なぜこの質問をするかというのは、敷島庁舎でエアコンの関係で使っていて、これは環境に優しいとかいろいろありますけれども、ただ、費用対効果を考えるといかがなものかなということがあるんです。だから、これは前にも言ったけれども、データのものはとって、はっきりした説明ができるようにね。電気料が3割減るとか、それで環境に優しいとか、そういうことがうたいであれば、これはデータはしっかりとっていただきたい。

以上です。この辺に対してどう思いますか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 先ほどご説明いたしましたとおり、補助金をいただく事業でありますので、データをとって、同等のエアコンでどの程度の減額があったか、あるいは炭酸ガスの排出についてはどの程度の削減があったかということを示さなければなりませんので、このデータが出た段階で、また所管の常任委員会でご報告したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） その他質疑はよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） 以上で質疑を終了します。

暫時休憩し、会議の再開を11時5分といたします。

休憩 午前10時52分

再開 午前11時04分

○委員長（長谷部 集君） それでは休憩以前に引き続き会議を再開いたします。

次に、第3款民生費、第2項児童福祉費のうち、保育所費から児童館費について説明を求めます。

三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） それでは、引き続きまして予算説明書80、81ページ、予算参考資料10ページをお願いいたします。

4目保育所費について説明いたします。

まず、001保育園関係職員費3億7,180万2,000円です。これは、市立保育園8園の正職員54人分の人件費であります。

財源のその他財源には、保育料現年分4億1,900万のうちの2億1,200万円と保育料過年度分330万4,000円を充てております。

次に、002保育園関係嘱託臨時職員費1億9,863万8,000円です。公立保育園の臨時職員79人分の人件費であります。

010市内保育所事業6億600万円であります。これは、市内の私立9保育園の運営費としての補助金です。

財源の国・県支出金2億7,252万円は、国分の保育所運営費負担金2億2,710万円と県分の1億1,355万円の合計3億4,065万円を、市内と市外の私立保育園在園児の割合おおむね8対2であります。これで案分したものであります。残りの6,813万につきましては、011広域保育事業の国・県支出金に充てておるものであります。また、その他財源1億6,560万円につきましては、保育料現年分の市内の私立保育所分であります。

011広域保育事業1億8,800万円あります。これは、市内在住の園児が、市外の公立と私立の保育園、おおむね60園を見込んでおりますが、60園に220人ほど通園することを見込んでおまして、その運営費補助金であります。

財源内訳の国・県支出金6,813万円は、市内保育所費での説明のとおりでありまして、市内外の保育園在園児の案分値であります。その他財源4,140万円につきましては、市外私立

保育所の保育料現年分を充てたものであります。

次の012特別保育事業6,353万9,000円は、民間保育園で実施しております各種の保育事業に対します支援事業であります。子育て支援センターは光保育園、一時預かり事業はあおぞら保育園、延長保育促進事業は私立保育園の7園、認可外保育施設職員健康診断実施事業は認可外保育園のあおぞら保育園キッズルームと松野歯科事業所内保育施設、託児所ユ一、休日保育事業につきましてはあおぞら保育園であります。病児・病後児保育事業はクローバー保育園、1歳児保育事業はあおぞら保育園、クローバー保育園、竜王大生園、万才保育園、光保育園、登美保育園、玉幡保育園、玉川保育園をそれぞれ対象と見込むものであります。

財源であります国・県支出金3,968万6,000円の内訳は、特別保育事業費等補助金分3,519万6,000円と安心こども基金事業費補助金449万円であります。

次の020から027保育園費1億3,525万6,000円ではありますが、事業内容は竜王北保育園から竜王西保育園までの公立8園の管理運営費でありまして、各保育園とも同様の執行内容であります。代替パート職員の人件費、それから維持管理費、保育事業費、給食事業費であります。

財源内訳のその他財源につきましては、保育受託事業収入1,016万4,000円、一時保育促進事業50万4,000円、延長保育利用料276万円、保育園の太陽光発電売電収入54万円の合計1,396万8,000円を見込んでおります。

引き続きまして5目児童館費であります。説明書82、83ページ、予算参考資料11ページをお願いいたします。

001児童館関係職員費5,968万4,000円は、市内11児童館の館長ほか、7人の正職員の人件費であります。

002児童館関係嘱託、臨時職員費9,581万7,000円は、児童館の嘱託・臨時職員の42人分の人件費であります。

財源内訳の国・県支出金4,184万8,000円は、放課後子どもプラン推進事業費補助金であります。その他財源につきましては、放課後教室負担金1,872万円のうちの545万1,000円を充てております。

010児童館総務管理費797万円は、全11館共通の経費でありまして、事務消耗品、職員旅費、通信運搬費などの一般事務経費と児童館運営委員15人の報酬、それから代替パート職員の賃金12万6,000円を、それから12万6,000円を上限といたします母親クラブ活動費補助金であります。

次に、011放課後児童健全育成事業1,326万9,000円であります。各児童館で実施しております小学校1年生から3年生まで、放課後の学童保育事業の運営に係る経費でございます。課で任用いたします放課後指導員11人分の賃金、講師の謝礼、事務用品、教材費等々であります。

財源は、全て放課後教室負担金であります。

最後に、020玉幡児童館費から030双葉東児童館費まで2,765万6,000円でございますが、11児童館の維持管理費でございます。内容は各児童館とも、事務消耗品、光熱水費、施設警備委託料等の経費であります。

以上であります。よろしくご審議お願いします。

○委員長（長谷部 集君） 説明が終わりました。

先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 10ページです。職員の数の内訳について、昨年とちょっと職員数が減り、臨職がかなりふえているというところを、ちょっと内容を聞きます。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） まず、この職員の数につきましては、まず001の54名、これにつきましては現任現給でありまして、平成25年11月の予算作成でありまして、そのときの54名ということで、実際、平成26年4月に見込まれるのは退職者がございまして、補充の人数がございまして、一応52名が見込まれるところであります。臨時職員が大きな変動がございまして、平成24年度につきましては臨時職員72名でありました。これは、保育士がうち60名でありまして、あとは調理員等々がございまして、平成25年度の11月、予算の現在であります。定員の増加等々がありまして79名になっております。

それがこの予算ベースの考え方でありまして、保育士につきましては69名ということで、9名の増になっております。これは児童の増加ということで、平成24年度から25年度にかけてまして840名から898名、これは月ごとによって違うんですが、その時点で58名の増がありましたので、保育士が9名の増になったということでもあります。

今度、26年度の4月見込みで、いよいよ保育園の入園児の数が確定いたしまして、見込みであります。児童が公立に955名入園するというので、25年、この予算の時期よりも57名増加することになります。それに伴いまして、職員が先ほど申しました正職員は52名でありますから、それに伴いまして、臨時職員97名を予定しているところであります。こ

これは、保育士につきましては77名でありまして、残りの20名につきましては、25年度につきましては10名だったんですけれども、10名ふやすというのは、調理員さんがシルバー人材センターの委託から臨時職員にかえたということでふえている分でありまして、児童の57名の増に伴う保育士の増といたしましては、臨時さんが69名から77名になったということで8名の増ということになります。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） この子供さんのふえる、急にふえて、それに対する職員の増員をしなきゃならないというので、今後考えられる認定こども園とか、そういうふうに指定のいろんな業者に頼んでいくと、こういったところが解消されるという話なんですけど、今回はこれはどうやって対応するんですか、公募。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 臨時職員につきましては、実はご案内のとおり、一般事務の補助の臨時職員につきましては、3年ほど前から適性試験を行っております。保育士につきましては、本年度から適性試験を行いました。

今回は、ここにありますように臨時職員大幅な増になりますので、適性試験を行った上で採用いたして、もちろん自己都合でおやめになる方もいらっしゃるんですけど、補充それから増加の分につきましてはハローワーク、それから県内の資格を取得できる大学等にお話しして、ご相談申し上げて募集をしているところであります。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） この前のときも、いきなり50何名ふえる、また50何名ふえるという、これはどういうふうに、原因ですね、この要因というのはどんなふうに考えていますか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） ご案内のとおり、児童数につきましては微減ということで、おおむね甲斐市内では50名から60名ほど減っている状況でありますけど、経済状況あるいは風潮によりまして、ゼロ歳とは言いませんが、1歳児からの保育所に入る希望が非常に多ございます。ですから、未満児の増ということと幼稚園から保育園にシフトする増ということで、非常に増が見込まれているところでありまして、委員さんのおっしゃるとおり、平成27年度から施行します新法によりまして、認定こども園等が出た場合に未満児の手当てが幼稚園でもできる——幼稚園といいますか、幼稚園が認定こども園にシフトした場合にそこで担えるということになりますので、それに大きく期待をしているところであります。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） ただ、様子によりまして、26年度の途中でそういったまた増員を考  
えることもあるかなと思うんですが、その辺の準備は大丈夫ですか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 保育所につきましては、人的な手当てと、それから設備的  
な手当てがございまして、今、公立につきましては施設的なスケールでいっぱい  
の状況でありますので、あとは私立の保育園さんには個々にお問い合わせするのかなというところ  
ありまして、幸いにも甲斐市におきましては待機児童が今のところ発生しておりませんので、  
ぜひ26年度中は頑張っていきたいなと考えているところであります。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） よろしくお願ひしたいと思うんですね。特に今、問題になっている未  
満児さんですか、そこのお母さん方が働く希望がふえてくるということは私もいろんなと  
ころで聞いて、「だけど、なかなか入れないんだよね」みたいなこともちょっと聞いたりする  
ので、その点、ぜひ皆さんの要望をよく聞いていただいて、適正に処理をしていただきた  
いと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 11ページの011の放課後児童健全育成事業であります。小学校1年  
生から3年生までが対象だということでもありますけれども、現在、どのくらいの学童保育の  
数になっているんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山係長。

○児童係長（小宮山正美君） 学童保育でございましてけれども、平成25年度現在、今の時点  
で800人の登録がございまして。平成24年度は896人ということでございました。

それから、平成26年度の審査をしまして、申し込みを募ったところ831名の申し込  
みがございまして。

以上でございます。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） そうすると、学童保育の数が少なくなっているということによろしい  
んでしょうか。

- 委員長（長谷部 集君） 三井課長。
- 子育て支援課長（三井敏夫君） 推移としては、同程度の数字を維持しているというところでありまして、希望は私どもは非常に多いんじゃないかなということを思っております。
- 委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。
- 委員（樋泉明広君） それぞれの教室については定員が決まっていると思うんですが、定員オーバーの教室というのはどのぐらいありますか。
- 委員長（長谷部 集君） 三井課長。
- 子育て支援課長（三井敏夫君） 定員は全体で775名ということでありまして、26年度の学童の申し込みを考えますと、定員オーバーは、竜王につきましては竜王さわやか教室についてはぴったり、竜王の東のさわやかについてはオーバーしてございます。南につきましてもオーバーしておりまして、以内でありますと竜王西、それから敷島なかよし教室、それから双葉ふれあい教室がかろうじて定員内ということで、その程度でありまして、おおむね全てオーバーというか、定員は上回っている状態であります。
- 委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。
- 委員（樋泉明広君） 県内で、ちょっとわからないんですが、小学校1年から3年まで、それ以上の学年を預かっているところはあるんでしょうか。
- 委員長（長谷部 集君） 三井課長。
- 子育て支援課長（三井敏夫君） 原則は1年から3年ということで補助対象になっておりますので、1年から3年ではありますが、甲斐市におきましても、市長が認めたというか、事情がある場合については4年生、5年生を預かる場合がございますので、それは他市についての把握はしておりませんが、甲斐市におきましても事情がある場合は以上児も預かるということでありまして、また、ご案内のとおり、27年からの新法の施行に伴いまして、小学校1年から6年生までを対象にしろということでもありますので、これについて対応できるだけの施設、あるいは人力的、マン的パワーの整備に今検討をしているところでもありますので、よろしくをお願いします。
- 委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。  
池神委員。
- 委員（池神哲子君） 子育て支援課の保育所事業ですけれども、県内に先駆けていろんなことを行ってくれたようで、すごくいいなと思っています。例えば、待機児童ゼロ、それから病児・病後児保育なども行ってくれるようになりましたし、その面でとても先進的かなとい

うふうに思っております。

この状況をもっともっと発展させてほしいというふうに思っているんですけども、臨時職員の方が79人、そしていろいろ助けてもらっているという状況なんですけれども、臨時さんの待遇というのはどんなふうになっているのか、ちょっと気になる場所ですけれども。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 臨時職員の待遇であります、一般事務職員と同等であります。賃金につきましては7,000円ということで、日給500円上がっておるところであります。

○委員長（長谷部 集君） 池神委員。

○委員（池神哲子君） ケアのほうも少しずつ上げているという状況があるわけですね。実際に子供たちに接するのは臨時の方が多いわけですね、一番のところ。一番大切な子供との状況を担っているところですね。今回も少し上がっているということで、また、徐々にそれも要望として上げてほしいなというふうに思っています。

では、そのほかに、病児・病後児保育のクローバー学園とかの状況なんかはどんなふうになっているのか、ちょっとお願いします。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） すみません。まず、保育のほうの状況につきましては係長のほうから答弁させますが、委員さん今おっしゃいました臨時職員の給与については、ベースアップはしておりません、もともと7,000円でありまして、近隣の市町から比べると特別の賃金、いわゆるボーナスというやつです。それとか日額7,000円、それから有給休暇の数とかという、甲斐市は割合いいほうに位置しているということで、ベースアップについてはしておりませんので、その辺ご理解よろしく願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） 長田係長。

○保育係長（長田裕二君） 病児・病後児の件についてお答えします。

病児・病後児については、甲斐市のほうではクローバー保育園さんが行っておりますが、平成23年度の病児・病後児、これを利用するには登録が必要になります。登録者数が23年度は229名、実際利用された方が延べ利用で202名利用しております。平成24年度、やはり登録者数が217名、延べの利用者数が205名、平成25年度ですけれども、まだ年度途中ということで全体の集計は出ておりませんが、利用登録者数は249名の登録者数があります。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 池神委員。

○委員（池神哲子君） 病気になっても、働いている人はなかなか休めない中で、この制度はとってもいいなということで、ぜひまた頑張ってもらいたいと思います。

先ほどおっしゃられた7,000円というのは、近隣市町村、みんな同じような金額でしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 先ほど申し上げましたように、甲斐市が若干いい金額を出していると。同じところもございますが、南アルプス市なんかは6,800円とかというふうにお聞きしておりますが、甲斐市のほうが割合いい条件じゃないかなということをお聞きしております。

○委員（池神哲子君） わかりました。終わります。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） ないようですので、所管以外の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 10ページが一番上、保育の職員ですが、正規54人、臨時79人ということで今、複雑な入りくりがあったんで、ちょっとそこを正確には把握できないんですが、問題は、正規と臨時の数がまた拡大してきているという問題です。前も指摘したように、甲斐市の場合は全国的に見ても臨時のほうが多い傾向にあると、それは是正したらどうか。当然、資格を持っている方たちですから、一時的に安易にこれをふやして、結局、臨時で穴埋めをしていくというのは正しいやり方じゃないし、市長さんは全国平均的なところをこだわっているのであれば、むしろこれは改善すべきだろうと思うけれども、部長さん、いかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） すみません。部長がお答えするところなんですけど、実は所管の委員会にもお示ししておりますとおり、今回、来年度にかけまして竜王西保育園を指定管理者制度の導入を考えております。

それから、竜王南保育園につきましては、民設民営ということで、南区の住宅用地に用地を確保しまして、民設民営を考えているということで、これに伴いまして臨時職員の減員と

いうことができるのかなと考えておるところであります。

本年度、先ほど申しましたように、待機児童ゼロということを考えまして、公立のほうで担う、受けられる児童は全て受けるという考えのもとで受けた結果が、臨時職員の8名増ということになっておりますので、ぜひその苦しいところをご理解の上、よろしく願いしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） その辺のところ、わかるところはわかるんですが、指定管理で解消できるという理論はちょっと納得できないところがあります。それは、きょうはいいです。

もう一つ、児童館の関係で臨時職員ですが、この方たちは保育士などの資格をお持ちかと思いますが、ちょっとその辺のところを教えてください。

○委員長（長谷部 集君） 三井課長。

○子育て支援課長（三井敏夫君） 児童館の職員につきましては、児童厚生員につきましては、保育士の免許を持っている者を採っておりますので、保育士の日給と同じ7,000円採用であります。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） ないようですので、質疑を終了いたします。

以上で第3款民生費、第2項児童福祉費についての審査を終了いたします。

ここで暫時休憩して、職員の入れかえを行います。

休憩 午前11時29分

再開 午前11時31分

○委員長（長谷部 集君） それでは、会議を再開いたします。

次に、健康増進課より、第4款衛生費、第1項保健衛生費について説明を求めます。

小宮山健康増進課長。

○健康増進課長（小宮山謙二君） 大変ご苦労さまです。

健康増進課から、平成26年度予算についてご説明させていただきます。

それでは、予算説明書88ページ、89ページを、予算参考資料は福祉健康部14ページをお願いいたします。

第4款衛生費、第1項保健衛生費、第1目保健衛生総務費から説明いたします。

001保健衛生関係職員費、予算額111万4,230円及び002臨時職員……

〔「1億1,400」と呼ぶ者あり〕

○健康増進課長（小宮山謙二君） すみません、申しわけありません。

1億1,420万3,000円及び002臨時職員費611万4,000円につきましては、健康増進課の職員17人及び臨時職員2人の人件費であります。

020一般管理費予算額377万1,000円、事業内容につきましては、市医5人の報酬、集団健診時のシルバー人材センターへお願いしています駐車場整理業務の委託経費、それから県医師会等への法令外負担金等であります。

022休日夜間急患体制事業、予算額3,347万1,000円につきましては、まず在宅当番医制整備費委託料は、中巨摩・北巨摩医師により当番制で休日や夜間の初期救急に当たっていただく体制整備の経費です。

山梨県救急医療情報センター負担金は、医療施設と救急車間の情報提供システムの維持管理に要する経費への負担金であります。

次の休日夜間急患診療体制整備委託料負担金につきましては、平日・休日の夜間、昼間の初期救急に対応する在宅医と2次救急を担当する甲府中巨摩地区11病院、峡北地区4病院への負担金等であります。

甲府市医師会救急医療センター運営費補助金は、平日・休日の夜間の救急に対応するための管理運営経費への補助金です。

次の小児救急医療事業負担金につきましては、2次の小児救急に対応する県内2カ所のセンターの管理運営経費及び2次救急に対応する病院への負担金となっております。

次の023敷島保健福祉センター事業、予算額2,197万1,000円。

財源内訳のその他使用料につきましては、センターの使用料等であります。なお、竜王、双葉の各福祉センターについても、敷島のセンター同様、財源収入については使用料等であります。

なお、3款の使用料等が違う理由につきましては、敷島保健福祉センターは歩行浴プール、軽運動室の使用料が約93%を占めているために多く、竜王保健福祉センターは社会福祉協議会のデイサービスの部分、そのほか介護認定審査会の部分の使用料が約98%を占めてい

るため、多くなっております。

右側の事業内容につきましては、保健福祉センターの維持管理費で燃料費等の需用費、施設維持のための委託料等、経常的な経費であります。なお、前年対比で減額になっている部分については、主に工事費であります。

030竜王保健福祉センター事業、予算額1,980万9,000円につきましては、燃料費等の需用費、施設維持のための委託料等の経常的な経費となっております。

031双葉保健福祉センター事業、予算額400万9,000円については、ほかのセンターと同様、経常的な維持管理経費であります。なお、前年対比の減額の部分については工事費であります。

保健衛生総務費の予算額の合計は2億334万8,000円で、前年度対比781万3,000円の減額となっております。

また、予算説明書89ページの010国民健康保険特別会計の操出金につきましては、保健課からの説明になります。

次に、15ページ、第2目予防費についてご説明いたします。

001予防接種事業、予算額2億4,669万円。財源内訳につきましては国・県支出金、予防接種事業事故救済事業負担金の518万8,000円であります。事業内容につきましては、定期接種のうちポリオ、麻しん、風しん、子宮頸がんほか四種混合等経費と任意接種の高齢者肺炎球菌等の経費であります。

予防接種事故救済給付事業は、平成16年に日本脳炎の予防接種で後遺症が発生いたしました市内在住該当者への医療費等の経費であります。

予防費の予算額の合計は2億4,669万円で、前年対比2,776万7,000円の減額となっております。

001母子保健事業、予算額1億139万6,000円。財源内訳につきましては、国・県支出金、次世代育成支援対策交付金の133万9,000円等であります。事業内容については、全新生児を対象とした新生児訪問事業、4カ月児から3歳児までの乳幼児健診、不妊治療費の助成事業、医療機関に委託して実施しております妊婦健診及び乳幼児健診等の経費、また、愛育連合会への補助金であります。

次の002健康推進事業、予算額1億9,510万8,000円。財源内訳につきましては、国・県支出金、国庫負担金としてがん検診推進事業補助金521万9,000円と県支出金、健康増進事業への補助金342万3,000円の合計864万2,000円と、その他収入で後期高齢者への健診補助に

324万7,000円と、それに分担金及び補助金、39歳以下の方の総合健診の負担金が398万6,000円の合計で、723万3,000円となっております。

事業内容につきましては、二十歳以上の社会保険、本人以外の方を対象に実施している総合健診事業の経費が主な支出であります。基本健診のほか、子宮頸がん、乳がん、大腸がんのクーポン検診、その他各種がん検診等の受診者の経費も含まれております。

また、若いお母さん方が積極的に総合健診に受診できるよう、託児についても継続的に計画しております。また、健診結果に基づく各種健康づくり事業、健康教育、健康相談、訪問指導等の事業にかかわる経費となっております。

003食生活改善事業、予算額216万6,000円、食育推進活動全般の経費であります。また、市制10周年記念事業といたしまして、具体的には食育料理コンテストを計画をしております。そのほか、食生活改善推進員の補助金であります。

次に、005人間ドック事業、予算額1億497万9,000円。財源内訳につきましては、その他収入の後期高齢者分、これは75歳以上ですが、人間ドックの補助金が1,860万円であります。

事業内容につきましては、40歳以上の社会保険、本人以外の方を対象に実施します人間ドックの医療機関への委託経費であります。

健康増進費の予算額の合計で4億364万9,000円で、前年対比1,301万8,000円の増額となっております。

以上で健康増進課の説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） 説明が終わりました。

先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 15ページの予防接種なんですけど、昨年と比べますと、任意予防接種と定期予防接種の金額との差がかなりありますので、内容をもうちょっと教えてもらいたんですが。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山課長。

○健康増進課長（小宮山謙二君） 25年度までにつきましては、ある程度想定した人数の8割掛けとかそういうふうなことで計上したんですが、26年度からはある程度実績に応じた人数で計上しておりますので、多少減になっております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。

接種の内容をもうちょっと聞きたかったんですけども、中身を。

○委員長（長谷部 集君） 長坂係長。

○保健指導係長（長坂千恵子君） 26年度の予算の見込みにつきましては、25年度現在、四種混合の予防接種というものが新しく出てきましたけれども、細かい説明をいたしますと、三種混合予防接種、ポリオの予防接種というもので、幾つかばらばらだった予防接種が四種混合ということで1つになったということで、そこで対象者が大分絞られたということと、それから子宮頸がんの予防接種が今、国の動きで接種を見合わせしていますので、その見込みを少し落としたというところが減額につながっている大きな要因です。

○委員長（長谷部 集君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） でも、定期接種のほうは金額的にはかなりふえています。ふえた理由は。任意のほうの減額はわかったんですけど、それが全部定期に行ったということですか。定期はふえていますよね。それは任意が全部定期に行ったということ。

○委員長（長谷部 集君） 長坂係長。

○保健指導係長（長坂千恵子君） 任意と定期はもともと別のところで、定期の予防接種の中では、昨年から小児の肺炎球菌、ヒブ予防接種のところは確実にちょっと接種率が伸びていますので、その部分では定期のほうが委託料のほうが多くなっています。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。

005の人間ドックのところをちょっと聞きたいんですけども、昨年もちょっと聞いたんですけど、受けた数、全員——これは一応予定している数だと思うんですけども、数と。それから、75歳以上の方の予定している数をちょっと聞きます。

○委員長（長谷部 集君） 長坂係長。

○保健指導係長（長坂千恵子君） 26年度の見込みの数でよろしいでしょうか。人間ドックにつきましては、25年度までは12月までの受診期間ですが、26年度からは1月までの受診期間ということで、1カ月間延長いたします。そこで少し受診者が伸びる見込みで、4,200人を想定をして予算を計上しました。そのうち15%が後期高齢者という見込みで、予算を計上しております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 関連ですけれども、平成25年度についてであります、人間ドック、それから総合健診、異常である、要注意とか要医療にひっかかった人たちは、25年度に比較してどうですか。ふえていますか、減っていますか。

○委員長（長谷部 集君） 長坂係長。

○保健指導係長（長坂千恵子君） 申しわけない。25年度につきましては、まだ集計をしておりませんので、その増減の比較はできておりません。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 傾向としてはいかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 長坂係長。

○保健指導係長（長坂千恵子君） 傾向としては、特に大きな動きはないと思います。いつでもやっぱり問題になるのは、今は異常はないんだけど、このまま放っておくと医療が必要になってしまうという方が毎年、受診者の約半数ほどを占めております。そこは変わらないです。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 疾病はどんなものが多いんでしょうか、異常と言われている内容ですけれども。

○委員長（長谷部 集君） 長坂係長。

○保健指導係長（長坂千恵子君） 総合健診の結果を分析しますと、甲斐市だけではないと思われるんですが、非常に血糖値が高い人が多い、一番多いのは血糖値です。その次には、コレステロールが高いというような傾向が出ております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） それに対する指導ですが、やっているとは思いますが、年間のどのくらいの方たちを指導して、その成果というか、そういったものはいかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 長坂係長。

○保健指導係長（長坂千恵子君） 各健康教育を年間166回ほどやっております、これは24年度の実績なんですけれども、7,015人ほどは参加をしておりますので、あらゆる機会を捉えて保健指導のほうは行っております。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですね。

以上で質疑を終了し、所管以外の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 003の食生活の改善事業のところちょっとお聞きしたい。

この前、たしか一般質問の中にもこんな話があったと思いますけれども、せっかくこういう組織があって、こういう事業として活動しているのに、たしか半分ぐらいですよ、自治会の活動されている役員さんというんですか。そういうものをね、やっぱり健康第一ですから、健康のためにこういう活動されているんだと思うので、そういうものをやっぱり予算措置として、活動されている推進員会の補助金なんかはどうなんですか、これ。要望はないんですか。どこでもそうなんでしょうけれども、もっとふやしてくれみたいな、そういうものは。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山課長。

○健康増進課長（小宮山謙二君） 食生活改善推進員につきましては、このところずっと同額の補助金をいただいております。担当課からも今度、補助金の増額等も要望したいところですが、あらかた会員がふえていない状況もありまして、今のところ同額をいただいております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 会員がふえないから、もっと増額をして、お金でつるといったような、そういう言い方はちょっとうまくないんですけれども、やっぱりそういうもので活動をもっと活発にしていくようなことを課としては考えてもらって、それが健康に寄与できるようになれば当然いろいろな面で保険料の負担だって減るだろうし、やっぱりこういう活動を積極的にもっとやってもらいたいということで、せっかくこういうものがあるのであれば、自治会で半分ぐらいしか役員がいらないなんていうことじゃなくて、全市のところくまなく役員さんがいて、こういう活動がしていけるような状態をつくってもらいたいと思います。意気込みを答弁していただけるのなら答弁してもらって、あとは要望で結構ですけれども、どうですか、課長。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山課長。

○健康増進課長（小宮山謙二君） 食生活改善推進員は、2年に1回の養成講習等がありまして、それを受けていただいて活動等に入っていただくんですが、たまたまきのうは養成講習

の修了式で、今年度も29名の方が養成講習を受けていただいて、新年度から会員になって頑張ってもらうんですが、委員さんのおっしゃるとおり、食育というふうなものは非常に重要な部分ですので、健康に関して。課一同、今後とも頑張っていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

その他質疑ございませんか。

坂本委員。

○委員（坂本一之君） 先ほど、10周年のコンクールのことで少し詳細というか、どのようなことをやるのか、教えていただいてよろしいですか。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山課長。

○健康増進課長（小宮山謙二君） まだ具体的な要綱等はできていないんですが、今のところ、課内で検討している形が、6月ごろから全校、全中学校・小学校生徒に要綱等の募集要項をお配りいたしまして、最初は書類選考をいたしまして、わくわくフェスタのときに航空学園の料理教室を使いまして、最終選考に残った方々は、グループ、個人と、特には問題にはしていないんですが、そういう方々に最終的に料理をつくっていただいて、そこで料理の先生方もいる中で審査をしていただいて、わくわくフェスタの中でどこかで表彰するような形を、今、考えております。当然、中学校、高校の家庭科クラブ等にも参加を呼びかけておるところです。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 坂本委員。

○委員（坂本一之君） 詳しいことは決まっていないということで、題材とか材料とかいうのは、甲斐市の名産を使ったということに絞るということですか。

○委員長（長谷部 集君） 小宮山課長。

○健康増進課長（小宮山謙二君） 条件の中に地産地消のものを使うというふうなことで検討しております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 坂本委員。

○委員（坂本一之君） これは要望で結構なんですけれども、給食のことで私も一般質問させていただいた中で、教育委員会にコンクールをやれというようなことを言っておりますので、何とか教育委員会と一緒にやって盛り上げていただいて、給食の中でも使えるような、そう

いうコンクールもできればありがたいと思いますので、よろしくお願いいたします。要望で結構です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

ないようですので、以上で第4款衛生費、第1項保健衛生費についての審査を終了します。

ここで暫時休憩し、会議の再開を1時10分、よろしいですか、中途半端ですか、いいですか。

〔「15分」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） 15分でいいですか。15分ということで、1時15分で再開をいたします。よろしくお願いいたします。

休憩 午前11時53分

再開 午後 1時13分

○委員長（長谷部 集君） 少し早いですけれども、全員おそろいになりましたので、これより議を再開したいと思います。よろしいですか。

説明、答弁につきましては、簡潔によろしくお願いいたします。

第4款衛生費、第2項環境衛生費から第3項清掃費及び第8款土木費、第4項都市計画費並びに第13款諸支出金、第1項基金費のうち、環境課所管事業について説明を求めます。

長田環境課長。

○環境課長（長田 治君） こんにちは。環境課ですが、よろしくお願いいたします。

環境課関係の26年度当初予算につきましてご説明を申し上げます。

当初予算説明資料は92ページ、93ページになります。予算参考資料はナンバー4となります。

ナンバー4、6ページをお開きください。

当初予算説明書の4款衛生費、2項環境衛生費からご説明をいたします。

まず、1目環境衛生総務費につきましては、当初予算額1億6,416万9,000円で、前年度当初予算に比較しまして125万9,000円の減となっております。

93ページの説明欄に001環境衛生関係職員費から017小規模水道維持事業までの項目がありますが、016簡易水道事業特別会計操出金は上水道課の所管となります。上水道課がご説明いたしますので、ご了承ください。

環境課関係の各事業は、環境衛生関係職員費が前年度比390万ほどふえています。ほかにつきましてはおおむね前年度ベースでの予算計上となっております。

各事業の内容を予算の参考資料の6ページで説明させていただきます。

001環境衛生関係職員費の内訳は、環境課に10人、やすらぎ聖苑に2人で、給料、諸手当及び共済費です。

財源内訳のその他169万5,000円は、狂犬病予防注射済み交付手数料、犬の登録手数料、犬の抑留手数料です。

次に、010の一般管理事業は、事務用の消耗品、郵便等の一般事務経費でございます。

次に、011の環境委員会費は、各自治会から選出をお願いしております環境委員136人の方の報酬、それから消耗品、郵便料等の運営経費でございます。

次に012の環境美化事業は、各地区で実施していただいております河川清掃の際の消耗品や土砂処理委託料、重機借り上げ等の経費、それから環境美化活動に対します各自治会への補助金でございます。

次に、013の雑草除去対策事業につきましては、敷島の焼却灰埋立地の雑草除去の委託料と、市内全域についての雑草の除去指導に係ります郵便料などでございます。

次に、014の狂犬病予防、野犬対策事業は、各地区を巡回して行っております狂犬病予防の集合注射に際しての注射済票などの消耗品や郵便料等の経費、それから飼育マナー啓発用看板等の購入費です。財源内訳のその他63万5,000円は、狂犬病予防注射済票の交付手数料でございます。

次に、015の犬猫不妊去勢手術費助成事業であります。犬が130頭、猫が165匹、合計295件を見込んでの手術費に対します補助金と通知用の郵便料です。

次に、017の小規模水道維持事業は、敷島3地区、竜王3地区の小規模水道の水質検査の委託料等です。

続きまして、予算説明書は92ページ、93ページの下からとなります。第2目の環境保全費につきましてご説明いたします。

当初予算額の2,598万4,000円で、前年度に比較しまして41万8,000円の増額となっております。

予算の内容につきましては、参考資料でご説明させていただきます。参考資料の7ページをお願いいたします。

まず、001の環境保全事業は、環境に関する啓発事業としまして、環境講座の開催にかかわります講師謝金や資料代等の経費、環境ツアーの際のバス借り上げや有料道路代等の経費、小学校5年生を対象としました環境副読本の印刷費などの計上です。環境監視測定のための河川や地下水の水質検査や土壌等の検査に係ります委託経費、自動車騒音調査の委託経費を計上しております。3行目にあります騒音測定器購入は備品購入となります。

制度としては3年目となる太陽エネルギー利用設備導入促進奨励金は、前年当初に比べまして175万円ふやし、太陽光パネル1件5万円に対し350件分、太陽光温水器1件3万円に対し5件分の計上でございます。

財源内訳その他5万円につきましては、寄附金を予定するものでございます。

次に、002環境審議会費につきましては、審議会委員19人の報酬のほか郵便料等の事務経費でございます。

次に、003の自然保護事業は、敷島地区の自然環境保全地区について、県から監視事業の委託を受けておりまして、その自然監視員1名の報償費と巡回に際しての消耗品などがございます。

財源内訳の国・県支出金の欄の3万7,000円は県からの委託金でございます。

続きまして、予算説明書は94、95ページの中段からとなります。

第3目のやすらぎ聖苑管理費についてご説明をいたします。

やすらぎ聖苑管理費は、当初予算額5,497万2,000円で、前年度に比べまして2,189万6,000円の増額となります。今年度の厚生環境常任委員会で、やすらぎ聖苑につきましては平成15年度の開設以来11年を経過しまして、今後、主要設備改修などを予定する旨ご説明をさせていただいた経過がありますが、火葬炉全体積替工事などの工事の関係で増額となっております。

予算の主な内容につきましては、参考資料7ページから説明させていただきます。

火葬場費の一般管理費であります。維持管理経費でございます。

先に財源内訳のその他552万8,000円につきましてご説明いたしますが、火葬場の使用料でございます。火葬用のLPガスの燃料代、電気料等の光熱水費、消耗品、電話料などの経費、それから火葬業務委託、火葬設備などの保守管理、ガラスなど館内清掃業務委託、電気設備などの保守点検業務、排ガスの環境の測定、施設警備などの委託経費を計上しております。

す。

参考資料の 8 ページをお開きください。

以下、26年度当初予算で特徴的な内容となります。

平成26年度は開設12年目となるということで、修繕関係も多くなっておりまして、火葬炉台車交換、棺台車のタイヤ交換、排気ファンモーター交換などを予定しております。

また、3炉あります火葬炉の全体積替工事につきまして、今年度の厚生環境常任委員会で工事期間を2年の予定で説明させていただきました経過がありますが、予算査定を経まして結果としまして、3年かけまして1年1炉ずつ実施させていただきたいと考えております。

1炉分の工事費を計上いたしました。

そのほか軒先塗装、シーリング打替工事、駐車場区画線工事等を予定しております。

以上、第2項環境衛生費の第1目から第3目までのご説明を申し上げます。

続きまして、予算説明書は96、97ページをお開きください。

3項清掃費、1目清掃費につきましてご説明をさせていただきます。

清掃費につきましては、当初予算額9億9,981万円で、前年度に比較しまして7,007万6,000円の増額となっております。増額の主な内容としましては、前年度に比べ002ごみ収集運搬事業が1,670万円、007広域事務組合負担金が4,880万円ほど増額となっております。

002ごみ収集運搬事業は、市指定のごみ収集袋購入に伴う経費増が主な要因です。

また、007広域事務組合負担金は、主に峡北広域行政事務組合の可燃施設定期点検業務委託等の業務経費増によるものでございます。

なお、008地域し尿処理施設特別会計操出金は下水道課の所管となっておりますので、下水道課でご説明いたします。

内容につきましては、参考資料でご説明させていただきます。

予算参考資料の8ページをごらんいただきたいと思います。

まず、001の一般管理事業につきましては、ごみ収集カレンダーの印刷経費、ごみ収集場所の表示プレート、スプレー缶ガス抜き器具の購入経費などのほか、ごみ収集小屋の新設や修理に対する自治会への補助金の計上でございます。

財源内訳のその他7万5,000円は、事業系のごみ収集業者の許可手数料でございます。

次に、002のごみ収集運搬事業につきましては、指定ごみ収集袋の購入費、また、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみなど生活一般ごみ等の収集運搬業務の委託料です。最近、ごみの量が若干ずつ減少傾向にありまして、本年度も同様な状況でございます。

指定ごみ収集袋の作成経費につきましては、輸入製品のため、円安の影響で入札価格が上がっておりますので、所要の経費を見込み、前年に比べ1,400万ほどふやしております。

一般ごみ収集運搬等委託経費は、金額が大きいのですが、排出量の抑制等により前年度並みの予算額となっております。

ごみリサイクル品収集状況確認経費については、合併以来、旧町の収集体系をおおむね続けておりますので、この際、実情を整理し、今後、収集体系の集約化に向けて検討を行い、経費節減を図りたいので、収集場所の確認、収集時間、距離を把握するための調査を行いたいと思っておりますが、予算内容としては車両借上料と燃料費でございます。

財源内訳のその他4,190万2,000円は、指定ごみ袋売払収入でございます。

次に、003の資源リサイクル推進事業につきましては、各地区の有価物回収運動とリサイクルステーションで回収されます資源ごみの収集運搬や処理に要する経費、それからリサイクルステーションでの分別整理作業の委託経費などであります。

前年度比で1,170万円ほど増額となっておりますが、竜王リサイクルステーションの設置に伴います経費の増、また、2行目に敷島・双葉リサイクルステーション整備645万とありますが、このうち615万円が敷島リサイクルステーション整備に係る経費でありまして、現在、敷島リサイクルステーションは敷地が狭く、車が3台ほど駐車すると後続車両が入れなくなってしまうので、土曜日、日曜日には、県道に駐車車両が並んでしまう状況ですので、改善を図りたいと考えております。

元敷島支所の現在保育園を建設しておりますが、県道を挟んで西側の駐車場、ATMがある駐車場に竜王リサイクルステーションのような管理型の施設を整備したいと考えております。

財源内訳のその他2,500万1,000円は、リサイクル品売払収入、再商品化合理化拠出金でございます。

次に、004のごみ減量化運動補助金交付事業につきましては、各地区で取り組んでいただいております有価物回収運動に対する実施団体への報奨金、また、家庭で使用していただいております生ごみ処理機の購入に対する補助金とこれに伴う郵便料でございます。

次に、005の剪定枝粉碎処理事業につきましては、市内2カ所にあります粉碎処理作業場の粉碎機等に対します消耗品や燃料費、修繕費等、それから粉碎処理作業の委託経費でございます。

次に、006の廃棄物不法投棄防止事業につきましては、不法投棄監視員30人の報償費、そ

れから不法投棄防止啓発看板やパトロール用の消耗品、監視カメラ借上料などの経費のほか、回収した不法投棄物の処理委託料を計上しております。

財源内訳のその他1,000円は、不法投棄物撤去費負担金でございます。

次に、007の広域事務組合負担金につきましては、中巨摩地区広域事務組合と峡北広域行政事務組合に対しますごみ処理事業やし尿処理事業のほか、関連施設の運営にかかわります負担金です。

また、笛吹市に平成30年度に操業を予定されております境川最終処分場建設事業費として、山梨県市町村総合事務組合に支払う負担金も計上しております。

中巨摩地区広域事務組合負担金は、前年に比べ1,355万1,000円の増であります。増加要因は、25年度から27年度の3年間で実施しております焼却施設基幹的設備改良事業が26年度に事業費22億2,300万円で予定されていることが主な要因でございます。

峡北広域行政事務組合の負担金は、前年に比べ4,097万円の増でありまして、主な要因は可燃施設の定期点検業務委託、これは三井造船との覚書に基づくものであります。

そのほか、薬品代、灯油代、運転管理委託、脱塩残渣運搬処理委託経費の増嵩によるものでございます。

なお、広域事務組合の各負担金につきましては、予算審議資料をごらんいただきますようお願いいたします。

予算審議資料の23ページをお開きください。

23ページは負担金の一覧表になっておりまして、環境課関係は峡北広域行政事務組合のごみ処理事業費3億4,432万5,000円、その下のし尿処理事業の2,601万1,000円の2会計、中巨摩広域は一般会計から勤労青年センター事業の6会計になります。

ページ順で、25ページをごらんいただきたいと思っております。

峡北広域行政事務組合からご説明させていただきます。

25ページの一番上の表で、甲斐市の行におけますごみ処理特別会計の3億4,432万5,000円、し尿処理特別会計の2,601万1,000円は、25ページの一番下の表、3、ごみ処理特別会計負担金算定内訳の右の列、運営経費の額をEとしまして、恐縮ですがめくっていただきまして、26ページの上の4表、施設建設にかかわる公債費償還関係になります。それぞれ列がF、G、H、Iの列でございますが、その列と次の左の民生費、温泉施設の運営費となります。民生費の関係をJとしまして、その右にありますごみ処理特別会計負担金合計の表でEからJまでを合計し、説明しております。ページの一番下であります、し尿処理特別

会計は処理料割が根拠となっております。

続いて、右のページの27ページをごらんください。

中巨摩広域の負担金ですけれども、27ページの上の表は総括表でございます。

1の一般会計負担金から均等割額10%、人口割90%というように、以下それぞれの積算割合に基づきまして、2のごみ処理事業特別会計算定内訳、3、し尿処理事業、地区公園事業、老人福祉事業、勤労青年センター事業算定内訳の表のとおり、甲斐市分の負担金を算定しております。

以上、広域の積算根拠につきましてはご理解をお願いしたいと思います。

予算参考資料にお戻りいただきたいと思います。予算参考資料の9ページにお戻りいただきまして、009バイオマス活用推進事業についてご説明させていただきます。

現在、バイオマスセンターにつきましては、建屋が完成し、装置を設置した中で、学校などの給食残滓の試運転を行っております。新年度から本格稼働をバイオマスセンターとして予定しております。このため、消耗品、光熱水費等のほか、警備委託、収集装置管理のための委託料等を計上いたしました。

生ごみ処理機は、5年リースで総額2,741万400円の予定でございます。補正予算説明の際にもご説明いたしましたが、リース料の支払いは新年度26年4月から始まります。運搬に使用するトラックについても、リースで計上させていただきました。

続いて、10ページをお開きいただきたいと思います。

8款土木費、4項都市計画費、3目下水道費については、002合併浄化槽事業特別会計操出金となります。

予算説明書は116、117ページでございます。詳細は特別会計の審査日程の際、ご説明させていただきます。

次に、13款諸支出金、1項基金費、14目環境保全基金費について、予算説明書は154、155ページとなります。

循環型社会の構築を推進し、環境の保全及び良好な環境の創造を図るための基金についての予算積み立てでございます。

財源内訳のその他29万2,000円は、総務使用料の行政財産使用料の屋根等貸与使用料27万2,000円と財産運用収入の環境保全基金の利子2万円でございます。

以上で一般会計における環境課関係の新年度当初予算の説明とさせていただきます。よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） 説明が終わりました。

先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 7ページの、まず002の環境審議会費であります。いつものこと  
でございますけれども、平成25年度の審議内容、それから26年度ではどのような審議内容を  
予定しているのか、お伺いしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 環境審議会につきましてお答えさせていただきます。

25年度につきましては、現在までに2回開催しておりまして、この19日に3回目を開催  
いたします。審議内容としましては、2年任期でございまして、25年度は任期がえの年で  
ございましたので、第1回で委嘱をさせていただきました。

審議内容につきましては、25年度の環境課関係の当初予算、それから特徴的な25年度の  
新規事業としましてバイオマスセンター、リサイクルステーション等の設置につきましての  
審議、ご説明と意見交換、それから環境基本計画をつくりましたので、その環境計画に基づ  
きます年次報告の内容をご検討いただきました。

ご意見としましては、今後、裾野を広げるために環境団体の把握を行っていく必要がある  
のではないかとというようなご意見もありましたので、そのような調査を行うというような内  
容もございました。

あと、2回目のときには、議会でもご説明しましたが、菖蒲沢の大規模発電の関係の内容  
もご説明しました。

26年度につきましては、やはり同じく年次報告の内容、また、環境関係の諸課題等につ  
きましてご提案申し上げながらご審議をいただきたいと思っております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 最近、中国からの超微粒子の大分侵入がありますけれども、こういっ  
た問題についての審議はされたんでしょうか、調査をしようというような。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） PM2.5につきましては、24年度のときに話題になりまして、対  
応としまして広報無線等の関係をご説明した経緯がございます。そのような経過は触れたつ  
もりでございますが、特別、審議経過はPM2.5につきましてはない記憶でございます。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） もう一つ、今、請願が出ています浜岡原発があるんですが、環境にとって大事な放射性物質の測定ですよ、これについてはどんなふうな話し合いになったでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） お答えいたします。

放射性の観測につきましては、継続して行っている旨の説明はした記憶がございますが、特別、放射線についての浜岡原発等の関係で審議したということはないです。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 市民の皆さんには、今現在、どのくらいの放射性物質が飛散しているというふうな報告はされていますよね。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 現在、放射線の観測につきましては、庁舎の玄関前で、平日の朝の時間帯に計測しております、それはホームページに掲載しております。また、主要公共施設等の観測も行いながら、ホームページに掲載しております。

以上でございます。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 別件、やすらぎ聖苑の管理費であります、一般管理費の中で使用料が552万8,000円、その他の財源内容で内訳が出ておりますけれども、この前の条例の中で値上げが審議をされたと思うんですが、どういう内容でしたか。もう一度、ちょっと明らかにしていただけますか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 本年度中におきまして、厚生環境常任委員会でやすらぎ聖苑の値上げの関係をご説明させていただきました。予定としましては、資料をご提示した内容でございますが、主な要因、要件は、市内の12歳以上の利用が約500件前後ありまして、それが一番多い状況です。その使用料が12歳以上、1件1万円いただいておりますので、それを2万円にさせていただきたいということをご説明した経過がございます。また新年度になりましてから、ご審議をよろしくお願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 552万8,000円の使用料の中には、その値上げ分が入っているという

ことでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 当初予算にご提示しております552万の予算額は、現在の使用料の額で積算したものでございます。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 9ページのごみ減量化運動の補助金交付事業であります。現在、有価物回収の参加自治会、何団体あるでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 現在、行政資料集のほうにもご提示していますが、115団体というところでよろしくお願いたします。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） これ、キロ幾らになっていましたっけ、補助金。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 有価物の収集に関します補助金、自治会とか育成会にお支払いしている補助金の積算ですけれども、1キログラム当たり5円という単価をもちましてお支払いをしております。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） これは、合併後、変化があったんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 恐縮ですが、合併からの内容はちょっと確認しないと、申しわけありませんが、最近はずっと5円で続けております。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 平成16年から現在まで、5円でずうっと来ているということですね。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 恐らく、合併後からそのような金額ということなんですが、ちょっと確認しないと今、確定的に申し上げられませんので、また後ほどよろしいですか。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 質問したのは、若干、それぞれの団体で頑張っているわけですから、ごみ減量化のための補助金として、やはりある程度また上乘せをするというような方向で検討したらどうかと、その検討されたんでしょうか。

- 委員長（長谷部 集君） 長田課長。
- 環境課長（長田 治君） 今のところ、5円というベースで当分継続していくというような予定でございます。
- 委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。
- 委員（樋泉明広君） 各団体ではそういった5円でいいということで、ご不満はないようですか。
- 委員長（長谷部 集君） 長田課長。
- 環境課長（長田 治君） その都度、申請書を環境課、また地域課にご提出いただいておりますけれども、その際に特別そのようなご意見を賜った経過はございません。
- 委員長（長谷部 集君） よろしいですか、とりあえず。
- その他質疑ございませんか。
- 三浦委員。
- 委員（三浦進吾君） すみません。ちょっと今の関連で、これは6ページです。
- 001環境衛生関係職員費で、やすらぎ聖苑、大変これからいろんな形でお金がかかる、メンテナンスもかかりますよね。それで、ちょっとお聞きしたいんですけども、やすらぎ聖苑に職員が2名いるわけですよね。この2名が1日の稼働、あるいはそういうことの勤務状態、その辺をちょっとお願いしたいと思います。
- 委員長（長谷部 集君） 長田課長。
- 環境課長（長田 治君） やすらぎ聖苑の職員につきましてご説明させていただきます。
- 先ほど、職員2名ということでご指摘いただきましたが、現在の人員は正職員が2名です。臨時職員が1人、合計3人で運営をしております、3人とも7時間45分の勤務形態となっております。
- 以上です。
- 委員長（長谷部 集君） 三浦委員。
- 委員（三浦進吾君） 業務のほうは指定管理に出してありますよね。だから、あえて職員が常駐して、それ必要があるかということでございます。これは、例えばそういう相談あるいは申し込みに来られるときは、常時決まってくる時間帯があるわけじゃないんですね。そんなことを考えたときは、別に職員がしなくてもいいような気がしますけれども、どの辺はどうなんでしょうか。
- 委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 再確認をさせていただきますが、現在の職員3名につきましては指定管理ではなく、直営の形の中で行っております。

若干、説明させていただきますと、事務室のその3人の職員につきましては、受付業務、また、施設の管理全般についての統括、清掃等も随時行っております。

先ほど、ひょっとしましたら、火葬委託というのを別の業者に委託しておりますので、こちらのほうにつきましては、業者のほうに、炉前・炉裏のセレモニーとか装置の運転をお願いしております。

今後の方針につきましては、ただいま委員さんが申されましたようなことは、徐々に検討していきたいと思っておりますが、現段階でこのようにするといいいいというようなことはまだ定まっております。

○委員長（長谷部 集君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 課長、私話したの、例えば甲斐市はこうだ、だけれども、他のところでは職員がいないんです。だから、職員を削減、ここに常駐しなくてもいいというふうな経費が削減されるわけです。先ほど言ったように、例えば1万円が2万円になるとかという案が出ているわけですね。そんなことを思うと、やっぱり職員を張りつけなくてもいいわと思いますけれども、ちょっとその辺ですよ。職員の削減と言っていますから、経費削減でちょっとお聞きしたいわけです。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 経費の削減、また、サービスの向上も含めまして、実はその内容で庁内会議を行っている経過がございます。ただ、この場面でどのような形にするかということは申し上げられませんが、そのようなことを前向きに検討しているということをご説明できると思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

その他質疑ございませんか。

小澤副委員長。

○委員（小澤重則君） 今の質問の関連になりますが、1万円の値上げを申請していると。正職員が2人行っているということで、正職員2人を臨時にすると、単純に考えても1,000万円浮いてくると、給料がですね。臨時に変えた場合に。本当に簡単に考えて。そういう努力をしてからの値上げを考えたほうがいいと思います。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） ご意見としてよろしいですか。

長田課長。

○環境課長（長田 治君） そのようなご指摘がありましたことは、庁内会議のほうでもまた報告をさせていただきたいと思います。いずれにしましても、またそのような経費節減につきましては鋭意検討してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） 池神委員。

○委員（池神哲子君） 私もそう思うんですよ。1万円上げなくたっていいと思うのよね。だってさ、倍になっちゃうわけでしょう。それで、そういうのなかったら困るじゃないですか。だから、せめて5,000円とかね、もうちょっと考慮してほしいですね。いきなり倍にしないで、要望です。

○委員長（長谷部 集君） 要望として承ります。

その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） ないようですので、所管以外の委員の質疑を行います。質疑ございませんか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 環境保全費の中で、環境保全事業の中で環境監視測定検査委託料、これ前年度と比べると……

○委員長（長谷部 集君） ページをお願いします。

○委員（内藤久歳君） 7ページ。7ページの環境保全事業で、委託料が前年度と比べて200万ぐらい違っているんだよね、減額になっているの。それで、この環境測定というのはいろいろな測定があると思うんですけども、先ほども意見が出たが、中国からのPM2.5とかそういう影響があるというようなことで、これ200万円下がって、そういったもろもろのことができるのかね。その辺の減額になった理由というのは何ですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 減額となりました主な要因の一つとしまして、今、地下水の水質検査を大体30件前後、いろいろなメッシュを切りながら選定しているという経過がございます。最近になりまして、メッシュの中でアトランダムに地下水の水質検査を継続してきたんですけども、特徴的な状況もないので、地下水の水質検査等で100万ぐらい減額しまして、例えば隔年測定というようなところをしたいなというふうな形の予算を組んでおります。

それから、自動車騒音測定につきましては、補正でもちよつとご説明しましたが、当初予定していました——昨年度予定していましたが160万ほどなんですけれども、今年度の実績等も勘案しながら予算額を落として、60万ほど落としております。

そのような関係で、減額の主な要因ですけれども、河川水質委託、小河川水質委託、それから河川の底質汚泥検査、土壌ダイオキシン等測定調査、自動車騒音測定調査というような関係は、前年度に続きまして行う予定でございます。

○委員長（長谷部 集君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ということは、水質とかそういう環境の保全調査ですよ。そういうものは、制度的には今までと変わらないという判断でいいですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 仕様書で発注いたしますから、このような検査をしてくださいという内容につきましては変更ありません。この関係につきましては、ホームページのほうに掲載しておりますので、また、そのようなご意見等も、多少箇所数は変わっておりますけれども、ご判断いただきたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） あと、その下の騒音測定器購入と、25万で買うということなんですよ。この測定器の活用というか、その目的というか、それどんなことに、新たに買って、どこで、どういうふうに使って、それを行政運営の中にどういうふうに生かしていくのかわかって、その辺はどういうところでこれを買ったのか。

○委員長（長谷部 集君） 丸山係長。

○環境保全係長（丸山英資君） 騒音測定器の購入につきましては、近年、自動車騒音に加え、隣接地の騒音ですね。例えば、自分の庭の中に作業場があつて音がうるさいとか、隣の家の子供がステレオの音が大きくてうるさいとかという、多々身近な苦情があります。これまでは、我々が現場へ行って対応していたんですけれども、どうしても理解してもらうには、ある程度の基準で示していかなければならないという中で今回、騒音器を買った。客観的証拠という形で、お客様に納得いかせるという部分のための対応の機械です。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） あと、9ページのバイオマス活動推進事業、これは前年度で一応、建屋の建築とかそういうことで1,600万ぐらいつぎ込んで、次にこれから事業化していくわけ

ですけれども、その中で管理運営委託、それから処理機の軽トラックリースというようなことで約1,000万ぐらい、これはあれですか、経常的なこの経費が例年計上されるということでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） そのとおりでございます。まず、説明欄の下から2行目の生ごみ堆肥施設管理運営委託につきましては、シルバー人材等を活用した装置への投入作業と管理、それから生ごみ処理機につきましては、先ほどご説明しましたとおり、その装置そのもののリース料等の関係でございますので、経常的な経費になると考えます。

○委員長（長谷部 集君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） これは約1,000万ですね、両方合わせると。これが経常的に売り上げが上がってくるということで、このごみ処理に関しては、減量方を含めて、今度新しい形の中でごみ処理をしていくということですが、これだけの投資をして、そしてごみの減量化にどうやってつなげていくのか。この投資した1,000万、またこれ継続で1,000万かけていくわけですね。その辺のところの基本的な考え方です。1,000万ここへ投資をして、それに対する効果というか、そういうものをどの程度見込んでこれをやっていくのか、その辺の考え方というのはどなんぐあいですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） お答えさせていただきます。

時々ご説明したかもしれませんが、いずれにしましても、甲斐市の場合は2広域にわたって、南アルプスと対比しますと大変経費高という現象が実感できます。そのような状況の中で、ごみを減量化していかなければならないということで生ごみに着目しまして、時々、九州の大木町というようにお話もさせていただいたような記憶があるんですが、理想的には生ごみを多くの家庭から集めるということが理想なんでしょうけれども、それは実際にいろいろな現実の問題がありますので、そのようなものに向けてできるかどうかはまた別としまして、いろいろな研究を積み重ねながら、ごみの減量化に向けていくということが1つ。

それから、そういうこと、甲斐市が公共施設としましては90トンの処理量ですから、全体の議会の中でも0.06%というような数字を申し上げた記憶もあるんですが、経費がかかり、また、処理量はそんなに多くないというような状況ではありますが、そのようなこともありますが、やはりごみの減量化というところを踏まえて、将来的な何かの活用を図っていきたいというところの研究でございますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） わかりました。

それで、結局こういう形でやって、生ごみを要するに普通の一般ごみと分別をするというのが大きな目的で、その点に対してはかなりいろんな課題があると思いますけれども、やっぱりこういった投資に関して、そういう目指す事業に関してそれだけの方向性を示して、やっぱり分別ということに関する市民の協力を求めるというか、そういうことも訴えながらこの事業をやっていかないと、テストで終わってしまうのか。そういう形で、ごみを減量するという目的はそういう目的があるので、その目的を生かすためにはこういう機会を捉えて、そういう方向性を示していくということも必要じゃないかと思いますので、今後、そういう点についても少し取り組みをしてもらって、ごみの減量化につなげてもらいたいと。

結局、今から、先ほども言ったように、1,000万の毎年経常経費がかかっていくわけですから、そういうことも含めて進めていってもらいたいなというふうに思いますけれども、その点についてはどうですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） また、今回は液肥化ということを中心にバイオマスセンターを運営していくわけですが、その次の段階、液肥をつくりながらその活用も図っていくわけですが、バイオマスセンターという名称に沿うように、例えば双葉の学校給食センターでは今、固形物の内容も持ってつくっておりますので、そのようなものの活用。

ちょっと余談になりますけれども、今から申し上げることは確定事項ではないですけれども、想定として、例えば西八幡の剪定枝のチップ化の活用、それから今、廃棄物の協同組合がやっていただいております、市は協力という形でございますけれども、BDFの精製等の内容、そういうものを総合的に取り込んでいながら、バイオマスセンターを活用し、また、市民の方にもPRできるような形になればいいと思っております。

以上でございます。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません、7ページのやすらぎ聖苑の件ですけれども、火葬の委託業務、また、保守点検だとかいろいろありますけれども、業者は毎年入札で決めるという解釈でよろしいのか。その選定の仕方はいかがしているか、お聞きします。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 業者契約につきましては、23年度からまず単年で行っております。

して、26年度につきましてもまだ決定はしておりませんが、単年契約の仕様で、現在、業者選定を行っている最中でございます。

ただ、今後につきましては、先ほどの答弁とちょっと重なる部分がありますが、先ほどの経費節減等も見越した中で、ちょっと抜本的な改革を取り組んでいこうということで考えております。

先ほども申しあげましたとおり、現段階でこういう形になるということは申しあげられませんが、それも含めて、とにかく26年度中に前向きに取り組んでまいりたいということを考えております。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 先ほど三浦委員が言われました件、要は業者に全部任せて、去年かな、ことしかな、早いうちに苦情がありましたよね、業者の。だから、これを行政が果たして委託して、それが100%いい形になるかどうかの心配があります。

それから、今後、今、課長が言われたとおり、しっかりした選定、また改革、今からのやり方は真剣に考えていただきたいということと。1つの業者が、1回でもそういう苦情が出ると、これ大事なことですからね。この辺は十分考えていただきたいと思うんですけれども、その辺はいかがでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 25年度の前半におきましては、先ほど委員さんのほうからご指摘がありましたとおり、苦情等の状況が生じたことはありました。業者のほうには注意をしながら、年度の後半のほうでは落ちついた状況になりましたので、それはご報告申し上げ、また、今後につきましては、業者の指導等も進めながら26年度は進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません。じゃあ、よろしく願いします。

質問、ちょっと次にいきますけれども、8ページの003、ここにあります資源リサイクル推進事業、この中で敷島・双葉リサイクルステーションの整備とありますよね。先ほど課長が説明された615万が敷島の部分ということなんですけれども、これ、今定例会の市長の所信表明の中、予算の説明ありました。移設の場所の選定ですけれども、これ、先ほどの課長の説明だと、現状あるリサイクルステーションから南へ、旧庁舎の駐車場ですね。そこへ移設すると聞いたんですけれども、この移設する場所の検討は、私考えるには、新庁舎総合文

化会館のほうにある防災倉庫ですか、あの一角もいいのではないかと思ったんだけど、この辺の検討はどのようにされたんですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 場所の検討につきましては、今年度中に敷島支所と話をした中で、実は敷島支所の敷地関係等も候補に挙げまして、協議をいたしました。敷島支所でも今、想定できるのが支所の駐車場の、総合文化会館の進入路のまた南側の部分、先ほどの防災倉庫の関係、その敷地につきましても支所と打ち合わせをした経過がございます。ただ、敷島支所のほうでも、その土地をいろいろと活用している場面があるようでございまして、現段階では敷島支所のところにつきましては案としては入っておりません。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 恐らくこれ、課長の説明では大体場所は決まっているんだなという解釈しちゃいますけれども、道路事情からいっても、駐車場の関係からしても今、新庁舎のある、今言われた防災倉庫の一角、あそこのほうが駐車するには利便性があるのではないかなということが1つと。

もし、これがATMのある旧庁舎の前の駐車場を使うとすると、現状よりは駐車はできる。だから、その辺はいいかと思うんですけども、よくこの辺は検討していただきたい。確定するだったら確定する理由をちゃんとつけていただきたいし、今の新庁舎のほうの南側の土地の利用関係、それもちゃんとうたって、ここに移設場所を決めたという報告をしたほうがいいのではないかと思います。

それから、現状、シルバーの人たちが管理してくれていますよね、業務を。そうすると、今現状では、休憩所はちっちゃいボックスがあって、その中で休める——休めるというか、事務仕事かな。そうすると、トイレもないような状況で、今までは旧庁舎の跡の建物のトイレを借りていたという形なんだけれども、近所のコンビニを使わなきゃならないような状況がずうっと続いているんですよ。

だから、そういうことを考えると、今回は今後、この休憩室というのはおかしいけれどもその辺のトイレの関係とか、そういうことは少しは考えてやらなきゃいけないんじゃないかなと思うんですけども、今後、もし執行側で考えている移設場所へ決まるとすると、その辺はどういうような考えでいますか、その辺はどうですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 具体的な今、設計図は出ていないわけですけども、そのような

内容も含めて検討させていただきたいと思います。考慮していきたいと思います。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございましたら。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 6ページの013雑草除去ですが、雑草の苦情なんかちょっと聞くんですが、指導の通知を出している件数と実際にちゃんと処理された件数、処理されない場合の対応について、まとめてお願いします。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 今年度のちょっと情報をまとめておりませんで、24年度の数字で恐縮なんですけど、指導の通知を出したのが162件、処理した件数が134件、未処理数が28件というようなことで、通報を受けましてから、いろいろな状況を確認しながら通知等を行っているのが現状でございます。また、問題解決については努力してまいりたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません。ちょっと1点、質問忘れちゃったからもう一回確認しますけれども、先ほど言った敷島のリサイクルステーションです。くどいようすみませんけれども、1つ、竜王のリサイクルステーションが時間で制限されていますよね。これ、今後、敷島へ移設した場合、この開放を24時間やるのかどうなのか、まだ決まりはないんですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 先ほども触れさせていただいたと思いますけれども、今の想定では管理型にしてまいりたいと思っております。ですので、建屋的にはガレージ型、竜王リサイクルステーションのような建屋を想定しております。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） ということは、時間制限をするという解釈でいいですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） そのように考えております。

○委員長（長谷部 集君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません。要は、一般質問の中にもしたんですけれども、24時間開放する必要があるかどうかのことは考えていただきたいし、それで今、課長のお答えの中で、今度管理型でやるとすると、シャッター閉めればそういうことはないんですけども、平気で時間外に生ごみを置いていってみたい、非常にマナーが悪いということは承知してくれ

ていると思うんです。その辺もよく考えてもらって、利便性は24時間やったほうがいいとはいっても、周りの人の迷惑、また、マナーの悪いことが目立つのであれば、やはり厳しくやることも1つだと思いますから、その辺はぜひ考えていただきたい。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 先ほどの9ページの009バイオマス活用推進事業の内藤委員の質問の中のあれですけれども、バイオマスセンター、この経費が経年経費だということを先ほど課長おっしゃったんですけれども、このバイオマスをつくるということは、要はごみの減量化ということで考えているんですよね。であれば、これを経年経費でもってやっていくというのは、この経費をかけていだけであれば、ごみの削減ということにいけば、経費がこれだけかかっていて、ごみを削減して、それが全体の経費が削減するところのものが見られないと思うんですけれども、そこら辺の見解はいかがなんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 当然、そのようなバイオマスセンターを運営することによって、ごみの搬送とか、それからおいとかの問題を検証しながら、将来的にはごみの減量化に向けての取り組みになるというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 自分も一般質問した中でもって、検証していくというふうなことでもって答弁いただいているんですけれども、このただやっているだけでもって検証していくということになると、検証とかそういった形の何か前進的な、ごみの削減に向けて前進的なものって、いわゆる広域のものが2つあって、そうやって経費をかけている。そういうものを5年、10年後には、ある程度そういうものの、また新しくそういうものを施設をつくるとかそういったもので大きく経費がかかってくる状態、これはもう目前に来ているわけですよね。そういったものの中で検証したり、そういうことをするというものはこの中に、経年経費という中でもってそういうものが含まれているのかどうかと、そこら辺どうですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 直接的にこの経費の中でごみの減少というところは、経費的なものはご説明できませんが、いずれにしても、このセンターの装置を運営することによりましていろいろなノウハウを構築しながら、また、前回ご説明した経過もあるかもしれませ

んけれども、500キロ級の装置を導入し、今、350キロ前後が公共施設での収集量というふうに見ております。残りの150キロにつきましては、モデル的な一般家庭というようなところも見ておりますので、また、そういう段階に行きましたら次の段階がいろいろ考えられるのではないかという意味で、ごみの減量化をいろいろ考えていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 清水委員。

○委員（清水正二君） ですから、先ほど言った経年経費ということで、こういう形でもって経年経費ということで固定化していくということは、前にバイオマスの計画ということを出していますよね、環境課のほうで。そういったものに沿っていくということは、それなりのもちろんそういった検証の経費だとか、そういったものも当然含まれているとは思いますが、固定化していくということは前進しないということですよ。そこら辺の考えをどういうふう持っているか、お聞きしたいんです。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 私が固定化というもの、経常経費と申し上げたのは、ちょっと財政的な方面からのフレーズでございまして、リースでございまして、5年リースということで5年間に限ってれば、5年間と違うスパンを見れば臨時的経費ということかもしれませんが、いずれにしても、今後5年間この経費は、いわゆる財政用語でいいます経常経費的な内容になるというような意味合いで申し上げました。

そういうことでありますけれども、5年間の内容の中で、先ほどの余剰の部分等も含めましての今後の将来的な展望も考えてまいりたいと思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 10年先といっても、計画とかそういうものを考えていけば本当に喫緊の問題だと思うので、そこら辺の前向きな形の中で、また物を取り組んでいただきたいと思っております。そういう要望としておきます。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

名取委員。

○委員（名取國士君） 8ページが一番上の欄で火葬炉の修繕、それからタイヤとかいろいろあって、その下にもあるんです、シーリング工事とかって。これは今回が初めてのあれですか、つくってから。10年後に初めてやったところですか。

○委員長（長谷部 集君） 丸山係長。

○環境保全係長（丸山英資君） タイヤ交換の改修につきましては、21年度にキャリア、台車等2台修繕を行っており、24年に2台ですね。次に、26年で一応改修する予定であります。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） そうすると、5年ぐらいたっているということですね。やっぱり、そうやって見ると、四、五年に1回ずつは、これは交換費用を盛っていかなきゃならんわけですね、その辺どうですか。

○委員長（長谷部 集君） 丸山係長。

○環境保全係長（丸山英資君） 火葬業務において棺等を移動させたりする機械でございますので、どうしてもタイヤとかその他バッテリーなど、消耗品として交換していかなければなりませんので、一応、環境課としてはおおむね10年を見て修繕計画を立てて、事務の執行を行っております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 消耗品であれば、これはしょうがないと言うんだけど、10年で850万という金額になるということ、これは大きいですね。その辺ちょっと考えないと、どうですか。

○委員長（長谷部 集君） 丸山係長。

○環境保全係長（丸山英資君） 予算の850万につきましては、タイヤ交換とすれば約90万ほどなんですけれども、そのほか施設の排気のファンモーターの交換、また、ガスバーナーのノズルの交換など、全般的な施設の修繕費として予算計上させてもらっております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） ちなみに、タッチパネルの交換とあるんだけど、これはどのぐらいかかっているのか。

○委員長（長谷部 集君） 丸山係長。

○環境保全係長（丸山英資君） タッチパネルにつきましては、まさしく火葬の運転の監視を行うパネルでございます。事業費につきましては、おおむね50万円ほどの予算です。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） この50万ね、タッチパネルは今回が初めてですか。

○委員長（長谷部 集君） 丸山係長。

○環境保全係長（丸山英資君） タッチパネルにつきましては、開業から約10年ほどたっているわけなんですけれども、毎日そのパネルを押して火葬の扉を上げたり下げたりということで、今年度、25年に1基、使い過ぎというんですか、さわった部分で反応が遅くなった部分がありまして、交換しました。同様に、3炉ありますので、同じような症状が見えますので、26年度には違う場所のパネルを交換するというものです。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） わかりました。

中身のこれ、やっぱりちょっと説明で入れてもらおうとわかるんです。あと、その下の火葬炉全体積替工事、1棟建てて1,350万で、これは今回が初めてですか。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 火葬炉全体積替工事につきましては、開設以来初めての内容でございます。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 初めてだけれども、あそこに焼くのが3炉とかあったでしょう。そのうちの今回初めてだから、次々出てくるということですね。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） 一遍に交換できればよかったんですけれども、査定等の関係でこの26年度から1炉ずつ、3年間に分けて全体工事を行ってまいりたいと思っております。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） わかりました。大変ですね。頑張るね。

それから、ちょっとその下にいきます。ごみ収集小屋の新設と修繕補修金ということであるんですけれども、これはどのくらい、小屋なんか新設する場合、何戸ぐらい、ごみの収集小屋。

○委員長（長谷部 集君） 長田課長。

○環境課長（長田 治君） また24年度の実績で恐縮ですけれども、新設が19件、修繕が28件ございまして、新設につきましては10万円を限度としております。修繕につきましては2分の1補助という内容で、24年度に新設19件、修繕28件を行っております。

失礼しました。訂正いたします。新設につきましては3分の2、10万円が限度でござい

ます。修繕につきましては2分の1でございます。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） わかりました。

それから、あと一つ、すみません。9ページのごみ処理機購入費補助金とあるけれども、これは生ごみの処理機だと思うんだけど、1個購入でどのくらいの補助なんですか。

○委員長（長谷部 集君） 鷹野係長。

○生活環境係長（鷹野 久君） 生ごみ処理機につきましては、金額の上限が2万円になります。

以上になります。

○委員長（長谷部 集君） 名取委員。

○委員（名取國土君） その2万円、今わかったはいいんだけど、これは処理機によっては金額が違うわけでしょう。それに対しても2万円がいいんですか、そう捉えて。

○委員長（長谷部 集君） 限度額が2万円ということだそうです。

鷹野係長。

○生活環境係長（鷹野 久君） すみません。購入価格の2分の1以内で上限が2万円ということになっています。

○委員（名取國土君） わかりました。ありがとうございました。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 先ほど清水委員のほうから、バイオマスとかごみの処理について質問があつて、答弁を聞いていると、残念ながら答弁からは前向きな、これをどうやってどういうふうにしていこうかというものが要するに聞き取れないわけです。なぜかという、要するにごみを減量化して、ごみの処理費をなくそうとかそういうことを、また、広域の負担金も減らすような方向でとかって、いろいろな考え方があるわけですね。それで、市長に言わせれば、甲斐市のごみは甲斐市で処理しようというような大きな目標もあるわけ。それに向かつてですよ、課長の答弁からは何かばらばらで、本当にやる気があるのかなというようにしか聞こえないんですよ、僕だけかもしれないけれども。その辺を今、清水委員も多分言っているんだろうと思うし、その辺をちゃんとした明確なやる気のあるビジョンを見せてもらわないと。

それで、例えばここにある資源リサイクルとか、ごみの減量化とかバイオマス活用推進と、

この目に事業別になっているけれども、こういうものを予算計上するときに、もっと見直さなきゃだめだと思うんですよ。これ全部関連することだからね。こういうものをちゃんと関連して、系統立てて予算計上してくれば、聞いているほうだってわかりやすいんですよ。やる気があるんじゃないかとは思いますが、このままだとぼろぼろのような気がして、何か前に進んでいかないような気がするんです。ただ生ごみを処理して液肥化にすればいいんだ、そういう問題じゃないんだよね。最終的には、ごみ処理の全体のビジョンがあって、いろいろこういう事業をやっているわけでしょう。そういうものを明確に出してもらいたい。

今、答弁しろと言ったって、答弁なんか恐らくできないだろうから、委員会なんかでもまたそういう質問が出ると思うので、よく検討して、また回答ください。要望で結構ですから。

○委員長（長谷部 集君） その他ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

ないようですので、以上で環境衛生費から清掃費及び都市計画費並びに基金費のうち、環境課所管事業についての審査を終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員を入れかえます。

会議の再開を……

休憩 午後 2時26分

再開 午後 2時42分

○委員長（長谷部 集君） 少し時間が早いですけれども、全員おそろいになりましたので、これより会議を再開いたします。

説明、答弁につきましては、簡潔によりしくお願いいたします。

商工観光課より、第5款労働費及び第7款商工費並びに第13款諸支出金、第1項基金費のうち、商工観光課所管事業について一括で説明を求めます。

花輪商工観光課長。

○商工観光課長（花輪正純君） ご苦労さまです。

それでは、商工観光課が所管いたします平成26年度当初予算案についてご説明いたします。

予算説明書は96ページ、97ページ、あわせて審議資料のほうは29ページをお願いします。  
予算参考資料はナンバー6の20ページをお願いいたします。

それでは、第5款労働費、1項労働諸費、1目労働諸費、当初予算4,023万円です。各事業の内容についてご説明いたします。

001労働関係職員費863万8,000円は、商工労働担当職員1名の人件費です。

012市民保養所委託事業306万1,000円につきましては、市民夏季保養所として委託契約しております海の家3カ所、山の家4カ所の保養所の委託経費です。

続きまして、013峡中広域シルバー人材センター補助事業1,332万円につきましては、その他財源は567万円で、シルバー人材センター構成市町村であります中央市、昭和町からの負担金、また、甲斐市の負担金分を合わせまして1,332万円をシルバー人材センターへ補助するものです。

015労働施策推進事業300万5,000円、これは勤労者生活安定資金預託金で、その他財源の300万は預託金の貸付金の元金収入です。この預託金につきましては、年度当初に300万円を中央労働金庫に原資として貸し付け、この資金を元手に労働金庫が市内の勤労者に生活資金として貸し付ける事業です。

また、あと負担金が山梨県職業能力開発協会への負担金です。

016勤労者施設運営委員会費2万2,000円は、勤労青少年ホーム、働く婦人の家、勤労者会館の運営委員会7名の報酬です。

017勤労青少年ホーム事業33万2,000円は、教養講座の講師への謝礼金と各講座での消耗品です。

018勤労青少年ホーム管理運営費は341万円で、その他財源20万1,000円は、ホームの使用料等です。維持管理費は光熱水費等で、管理委託料は清掃、施設管理、機械警備、冷暖房の保守点検委託料です。

次に、019婦人の家事業39万1,000円につきましては、新年度から教養講座の内容を全面的に見直しを行い、講師等への謝礼金を計上いたしました。

続きまして、参考資料の21ページをお願いいたします。

020婦人の家管理運営費は774万5,000円で、その他財源の95万円は施設の使用料です。維持管理費は光熱水費と、ご意見、ご要望がありました和式のトイレを洋式トイレに改修する工事費や、施設への案内看板を改修する予算を計上いたしました。管理委託費は、施設の管理委託料、清掃、機械警備、冷暖房の保守点検となっています。

次に、021勤労者会館管理運営費30万6,000円、その他財源の3万6,000円は施設の使用料です。維持管理費は、修繕費と光熱水費等です。管理委託費は、浄化槽の維持管理委託料です。

次に、説明書21ページの下段のほうをお願いします。

7款商工費、1項商工費、1目商工総務費は、予算額3,884万3,000円であります。

001商工関係職員費3,875万6,000円は、課職員5人分の人件費です。

次に、010商工総務費8万7,000円は、職員の出張旅費と郵便料です。

続きまして、資料22ページをお願いします。

7款商工費、1項商工費、2目商工振興費、総額1,957万7,000円です。

001小口資金融資事業16万円は、小口資金融資審査委員6名の報酬と小口資金の融資保証料の補助金及び事務費の計上です。

002商工振興費は1,941万7,000円です。まず、甲斐市商工会への補助金として1,590万円を、補助対象事業としております総合振興事業ほか5事業に対して補助金を交付するものです。

次に、小規模企業経営改善資金緊急対策利子補給につきましては、売り上げ減少等により業績が悪化しているなどの理由により、小規模事業者が金融機関から借り入れた融資資金の利子の一部を補給金として補助する金額を計上いたしました。

次に、甲斐市企業立地支援条例奨励金、これにつきましては存置額として1,000円を計上させていただきました。

また、山梨県地域産業活性化協議会の負担金の計上です。

次に、ポケットパークの維持管理費につきましては、県立農業高等学校北側のアルプス通りの信号のところにありますモミの木のイルミネーションへの取り付け、撤去及び照明の電気代等の維持管理費です。

参考資料23ページをお願いします。

3目観光費、010観光推進事業は1,623万7,000円で、財源内訳の30万円は味覚探訪ツアーへの参加者負担金の計上です。

甲斐市観光巡回バス運行事業は、季節の味覚に合わせ、新年度は年6回、6日間にわたって限定して市内の観光巡回バスを運行する経費です。

次に、甲斐市フットパス事業につきましては、年3回分のフットパス事業を開催する予算を計上いたしました。

甲斐市味覚探訪ツアー事業につきましては、11月の新酒ワインまっりの時期に竜王駅を発着し、市内3カ所のワイナリーや農の駅等をめぐる秋の味覚探訪ツアーのバス運行委託経費の計上です。

次の登山道整備委託事業は、甲斐市の北部地区、茅ヶ岳、太刀岡山、ふるさと自然観察路等の案内板の補修、雑草の除去、倒木の撤去等に関する登山道の整備委託をする経費です。

事務消耗品、パンフレット等の印刷につきましては、甲斐市の観光パンフレットであります「ぐるっとナビ」等の印刷費と市外でのイベント参加時の景品代等です。

次の竜王駅魅力発信協議会補助金につきましては、駅前広場でのイルミネーションの装飾と駅前広場で開催するイベントの実施経費を補助する金額です。

次の各種団体につきましては、山梨観光推進機構負担金や茅ヶ岳の観光パンフレット作成時の負担金等です。

観光推進事業経費につきましては、新聞や雑誌等への観光PR、広告料、県外等で開催するイベントへの参加旅費、市観光ホームページの保守管理経費です。

次の富士山写真コンテストにつきましては、市制10周年記念事業の一つとして、「甲斐市から見える富士山」をテーマとして、市内から望む四季折々の富士山を写真のコンテストとして実施する経費で、入賞者への報奨金や印刷製本費を計上いたしました。

次に、011観光イベント事業は1,695万円です。来月15日火曜日に開催するおみゆきさんの実行委員会への補助、9月23日の大式学問祭実行委員会への補助金、10月15日、航空学園での開催を予定しております甲斐市わくわくフェスタ実行委員会への補助金です。

最後に、24ページをお願いします。

13款諸支出金、1項基金費、12目地域振興基金費、25節積立金、001地域振興基金積立金は5,442万6,000円で、その他財源の財産収入、基金預金利子が42万6,000円と、競輪、競艇、オートレース、地方競馬、4公営競技の双葉場外売りの売上金による市への環境整備協力費等の収入が5,400万の諸収入です。

以上が商工観光課の26年度当初予算案です。よろしくお願いたします。

○委員長（長谷部 集君） 説明が終わりました。

建設の皆さん、お待たせをいたしました。

これより所管が建設経済常任委員会に移ります。質疑ございませんか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 23ページの観光費のところの010の味覚探訪ツアー事業なんですけれども、今年度から、今まで参加費が500円のが1,000円になりましたよね。その辺のところ、参加者の変動とか、そこら辺のところはどうでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 清水委員のおっしゃるように、500円のを1,000円に参加料といたしました。参加人数につきましては、24年と25年を比較しますと20人ほどふえておりますので、参加料については皆さん納得していただけていると解釈しております。

○委員長（長谷部 集君） 清水委員。

○委員（清水正二君） これは参加した人の意見なんですけれども、何ていうんですか、記念品といいますか抽選でもらえるんですけれども、何かね。前の年もワインを抜く、同じ500円のとときにそれであって、また1,000円のとときもそれで同じものだという、どこが変わったのかなというところで、多分そこら辺の経費の負担かなというふうなことになろうかと思うんですが、そこら辺の見解いかがでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 参加人数が330人ほどあるわけなんです、景品につきまして、一番いい方であるところとちょっと高めのワインがあったり、今おっしゃる外れ的な方はコルクを抜く栓抜きというような、個数によって非常に上下があろうかと確かに思います。

金額的にはある程度制限が、こちらも考えておりますので、参加費には見合った本当は出せばいいんですが、いかんせん、ほかのバスの運行経費等がかかりまして、賞品代のほうへ回せる額が一定の額になってしまうとは思っています。

○委員長（長谷部 集君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 当然、バスの運行経費とかあります。目的として、甲斐市の中を知ってもらおうというふうなことが唯一の目的だろうと思うので、そういったことでもって、1,000円でもいいですから、そこら辺の賞品の工夫、別に、参加者はいろいろなところから来ても、やっぱりそういう景色であるとかそういったものに満足すればいいと思うので、景品のある程度の均衡化ということと、また、その景品の工夫を凝らしていただくということで。

たまたま今年度からガイドも入ったということで、全部じゃなかったのでもところどころなので、ガイドが入っているところは、皆さん、やはり甲斐市のいいところを説明されて、非常に喜んでいただんですよね。そういうところがないバスもあったので、そこら辺の工夫もあ

れば、景品を下げてもいいから、そういうふうな形の中でやったらどうかなと思いますけれども、それはいかがでしょうか、検討を。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 今の景品については、新年度に向けて内容を検討したいと思います。

あと、ガイドの件については、これはボランティアガイドを募りまして、やっていただける方が出まして、急遽ボランティアガイドでバスに同乗して、案内をしてもらったような経緯がありますので、前もって年度当初から打ち合わせを進めて、なるべく全部のバスにボランティアガイドが乗れるように案内をしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 甲斐市の方のガイドの説明を聞いて、そんなこと知らなかったよなんて言う人もいまして、非常に甲斐市の観光をアピールするにはいい形かなと思うので、ぜひ前向きなところでご検討願いたいと思います。要望です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

八代委員。

○委員（八代静枝君） 20ページ、019働く婦人の家の関係ですけれども、019と020ですか。今のご説明で、早速看板とトイレ等を対応していただけるということで、本当にありがとうございました。

そして、この「働く婦人の家」という名称の件についても、これ条例改正が伴うと思うんですけれども、どのようなふうに今年度お考えなのか、お聞かせ願えたらと思いますけれども。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 八代議員さんのほうからは、一般質問でいただいた件で市長がお答えしたかと思いますが、通称名で現在「えみ・ハウス」という言葉を使っておりますので、開館当初から使っている通称名、愛称名をPRし、浸透していきたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 八代委員。

○委員（八代静枝君） 通称名というのはあくまでも通称であって、働く婦人の家という、その「婦人」という言葉が、質問のときにもさせていただきましたけれども、要するに一種差別的な要素が含まれているということもありまして、最近はほとんどが「女性」に変わっております。

全国的な流れの中でも「女性」ということで、そしてやはり県下で2番目のこの先進甲斐市ですので、ぜひ「婦人」という古い言葉、一つの例でいいますと、いろいろあるんですけども、婦人がそういうふうに言われているというのは。要するに、婦人に対する男性の言葉がないとか、そしたり婦人の「婦」というのは、ある種、女に箒という字を書くとか、いろいろそれは種々ありまして、やはりそして婦人という、例えば小さい子をつかまえて「この婦人は」と言わないと。要するに、女性行政というのは、生まれてから死ぬまでの間を女性と男性という区切りの中で施策を展開していくという必要性から女性というふうに言われていると。

婦人というと、ある一定の年齢の人にのみ婦人という。だから、行政をしていく上に、婦人施策というと、ある程度年齢のいった女性のみにもされるとか、そういう幾つかの理由がありまして、最近では「女性」という言葉を使うというふうになっていますので、その辺もぜひ、またこれの看板をかえるときに、お金に絡んでくることもありますので、名前が。ぜひ、検討される中で「女性」という名前に変えていくような検討をさらにお願ひしたいと思います。

「えみ・ハウス」というのは、あくまでもニックネームで通称だから、それを打ち出していくということは、本当にそれで親しまれる施設になればいいと思いますけれども、ぜひその辺の検討をお願いしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 以前、一般質問のときも部長から多分お聞きになっていると思いますが、県内でも6カ所、同じ名称の施設があります。県のほうで調べると、170カ所全国にありまして、婦人の家。そのうち3割ほどが、今おっしゃる通称名なり愛称名、今、委員さんがおっしゃる「女性」という言葉に変換しているのが3割ぐらいあるのが現状です。県の男女共同参画センターも、条例上は参画センターになっておりますが、通称名「ぴゅあ総合」という形で運営しているようです。そういった近隣の内容も検討しながら、看板のほうも検討したいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 八代委員。

○委員（八代静枝君） いろいろ今お話がありましたけれども、男女共同参画センターは、私がいたときに名称変更して、ちゃんと条例も変えています。通称というのはあくまでもニックネームですので、基本の名前は「男女共同参画推進センター」です。それだけはちょっとお間違えのないようにしていただいて。

いろいろあると思いますけれども、ぜひ男女共同参画のいろいろプランもつくったり、委員会もあったりする進んだ甲斐市ですので、ぜひ名前を、ただ「婦人」を「女性」に変えるというところですので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 要望でよろしいですか。

○委員（八代静枝君） はい。

○委員長（長谷部 集君） 要望として、よろしくお願ひします。

その他質疑ございませんか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 今の八代委員の働く婦人の家のあれなんですけれども、あの地域は万才の1区に位置するんですよね。それで、その地域の人たちの要望とすると、公民館も古くて手狭ということもあって、なかなか婦人の家も近くにあって使いたいという地域の要望があるわけです。そういったことの要望というのは、そちらのほうに届いていることはありますか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 我々の課が所管します婦人の家、青少年ホームにつきましては、地元の自治会長さんも運営委員会に入って、ご意見をいただいているところですが、ホームのほうですと竜王1区、婦人の家ですと万才1区のほうから、直接我々にどうこうという話はこれまでなかったかと思います。いわゆる運営委員会の自治会長さんの意見の中にはです。

○委員長（長谷部 集君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 先ほどの名称の件もですけれども、一部の人の話では、やっぱり婦人の家という、何かそういうふうな形の中で、地域の事業とかそういうののちょっと、その範囲というのが狭められるような感じでもって使い勝手が悪いというような話も聞いております。そういう中で、地域の人たちが使えるように、先ほど八代委員が言われるように、ネーミングとかそういうものであれば、そういうふうなことも加味して、地域の人が使えるようなネーミングとか、そういったものの形の中でやっていただきたいというふうに思います。

今現在、万才1区の人たちが婦人の家を使うのには、年に1回の総会しか使っていないというふうなお話なんです。だから、できるだけ使えるような形の中でお願ひしたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 要望でよろしいですか。

○委員（清水正二君） 要望です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

河野委員。

○委員（河野勝彦君） 22ページの002の山梨県地域産業活性化協議会負担金のところですが、これは年に何回やって、どういう人たちが参加しているのか、ちょっと教えてください。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 地域産業活性化協議会負担金5万1,000円、これは各市町村の担当課長と県の産業部門の担当課長、あと山梨中銀関係と、そのようなメンバーで構成された協議会で、県の企業立地の整備計画等の検討をする場の協議会です。去年は2回開催しております。

○委員長（長谷部 集君） 河野委員。

○委員（河野勝彦君） その中で、課長のところ出席しているということで、県の産業活性化についてどういったことが話されているのか。そして、もし県のほうの意向で、こういう方向でいきたいとかという方向づけがあるかどうか、ちょっと聞きたいですけれども。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 昨年ですか、山梨県の産業立地基本計画の第2期の計画が策定されて、その中で第1期目と目新しく変わった点はたしかなかったかと思いますが、引き続いて製造業、情報通信サービス業等の誘致に努めるというような事業内容になっているかと思えます。

○委員長（長谷部 集君） 河野委員。

○委員（河野勝彦君） 今から地方交付税もだんだん減ってくるということで、やっぱり自主財源をつくっていくには、産業を取り入れたりしていくことが一番手っ取り早いような気がします。ただ、現状は、経済の活性化がなければちょっと無理かと思えますけれども、そういう方向で、市のほうでもそういった協議会みたいなものは立ち上げてあるんですか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 市が設立した協議会は、今のところございません。商工会の工業部会とは何度かお話をさせていただきまして、いろいろご意見をいただき、去年の一般質問の中にもありましたミニ工業団地の設立構想はどうかとか、商工会の工業部会のほうでもご意見をいただいている経過があります。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） ないようですので、所管以外の委員の質疑を行います。質疑はございませんか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 20ページの013の次に去年、014で勤労者の協議会補助というのがあって、これ毎年減ってきて、去年で一応終わったという理解でいいんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） これは、行政改革の一環で行っております事務事業評価の中で整理統合する補助金の一つとなっております、昨年25年度の予算をもって終了ということにいたしました。

○委員長（長谷部 集君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） これ当然、補助だからもらっていた人がいるわけですが、この関係者から特に意見等はなかったですか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 対象者となります勤労者協議会のほうには事前に、減少し、また、25年に向けて廃止するということは、3年ほど前にお話をしてあります。

○委員長（長谷部 集君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 23ページで登山道整備、010ですか。これ、金額的には減っていますが、この整備の前に点検等は毎年何度かやっているんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 今年度の事例でいきますと、職員がまず5月、7月、11月と、ふるさと自然観察路、黒富士、曲岳、観音峠等を現場を確認し、職員ができる範囲のことは登山道の整備を実施しました。それ以外に、造園業者の専門業者に委託して、登山道の太木等の除去、ロープ等による安全装置の確認や補修等を実施いたしました。

○委員長（長谷部 集君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） というのは、去年秋だったのですが、黒富士のほうに行く登山道で倒木が進めなかったことがありまして。じゃあ、一応回って見ているということでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 今おっしゃる点につきましては、職員で確認はしているんですが、とても大きい大木で職員にはちょっと手がつけられない大木のように、その点は迂回をさせていただいているという形です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 22ページの002商工振興事業の中です。甲斐市企業立地支援条例奨励金というふうな存置で載っているんですけども、この内容的な、奨励金の内容は前年度と変わっているか、それとも変わっていないか、その辺はわかりますでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） これは条例で支援を決めておりますので、昨年の支援内容と同一の内容です。

○委員長（長谷部 集君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 要望で結構ですけども、ただ、やっぱり市町村の違いを出して、甲斐市に少しでも企業立地が成功されるように、私も努力しますけれども、その辺を踏まえてまた検討して。

次に、ちょっと別の質問で、23ページの011観光イベント事業。今、ご説明で甲斐市わくわくフェスタ実行委員会補助金ということで、航空学園で今年度は計画をなされた。小耳に挟んでおるんですけども、航空学園を使用できるのが今後何年ぐらいか、また、その後のフェスタをどのように考えているか、もしわかったらご説明をお願いします。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） わくわくフェスタを現在実施しております航空学園の関係ですが、敷地が県の防災基地、ヘリポートセンターみたいな形になるというお話があって、昨年、一時新年度から使用できないのではないかと苦慮したところですが、直接お話を聞くと、事業のほうがちよっと延びているので、新年度については航空学園で開催できると。それ以後については、まだ未定の点が多くてこの場でちよっとお話できませんので、また検討の上ご報告したいと思います。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

池神委員。

○委員（池神哲子君） 20ページの019働く婦人の家の事業の中で、教養講座を何回か行って

おります。その内容をかいつまんで、あと参加者人数、そのあたりを教えてください。

○委員長（長谷部 集君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） 教養講座ですが、まだ、24年度決算になりますけれども、年に40回しまして、人数的には568人になっています。あと、内容につきましては、軽運動、あとは英会話とかニーズの多いものを中心に、英会話や軽運動スポーツを中心として、あとパッチワークをやったり、文化のものも中心としてやっております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 21ページの020働く婦人の家の管理運営費ということで、運営費が前年度に比べて管理費のほうが140万ばかり多くなっているということなんですけれども、この辺のところはふえているんですか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 冒頭お話ししたかと思いますが、トイレの改修工事が190万ほどかかるかと思いますが。それで、増減合わせて150万ほど増額になっているという関係です。

○委員長（長谷部 集君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それで、あと、10周年のイベントで富士山の写真コンテスト68万2,000円ということで、この募集期間、これを見ると5月から来年の2月ということで募集はするんですけれども、概要がビュースポットを発掘するということと写真コンテストを実施するという事なんですけれども、コンテストをどういう内容でやるのか。撮ってきたものをどんな形でどういうふうに、これをイベントして盛り上げていくか、その辺の考え方というのはどうなんですか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 現在予定しておりますのは、題材を「甲斐市から見える富士山」ということをテーマにし、甲斐市から望む四季折々の富士山の写真ということで、5月の連休から来年2月くらいまでの間に写真を撮っていただき、市の担当課、フジカラーとタイアップしてやりたいと思いますので、フジカラーの取扱店のほうへ作品を提出していただくという形をとろうかと思っております。

応募資格は、プロ、アマ問わずやりたいと思います。また、その題材は今後、観光名刺や観光パンフレットに広く使いたいと思います。

- 委員長（長谷部 集君） 内藤委員。
- 委員（内藤久歳君） そこに委託をして、それをどういう格好でどういう表彰とか、そういう評価とか、そういうのがあるんだろうけれども、そういうものについてはまだ考えてはいないということなんですか。
- 委員長（長谷部 集君） 花輪課長。
- 商工観光課長（花輪正純君） まず、審査員については、市長を初め文化協会の役員さんや商工会の会長さん、山日新聞等の関係者に審査員になっていただこうかと思っております。
- 委員長（長谷部 集君） 内藤委員。
- 委員（内藤久歳君） せっかく甲斐市をPRする機会なので、いわゆる観光パンフレットにこれを使うとかそういう方向で、せっかく62万かけた効果を広く知られるように、そういうことって何か考えておりますか。
- 委員長（長谷部 集君） 花輪課長。
- 商工観光課長（花輪正純君） 今お話ししました観光名刺と甲斐市の唯一の観光パンフレットの「ぐるっとナビ」を全部リニューアルするつもりでおりますので、その中でも使いたいと思います。
- 委員長（長谷部 集君） 内藤委員。
- 委員（内藤久歳君） それで、あと先ほどの中でわくわくフェスタで、この予算を見るとゼロになっているんですけども、結局、商工観光課としてはわくわくフェスタで特別の10周年という形、わくわくフェスタというイベントの中では何もしないということの予算措置はしていないという考え方だと思うんです。こういうこと、所管の商工観光課だから、わくわくフェスタの中でも、要するに10周年というものを何かお祝いするというか、その辺の考え方というのはなかったのか。
- 委員長（長谷部 集君） 花輪課長。
- 商工観光課長（花輪正純君） 予算的には同額ですけども、内容的には10周年らしくなるようなイベントを、内容を検討していきたいと思います。
- 委員長（長谷部 集君） 内藤委員。
- 委員（内藤久歳君） らしくというのは非常に物すごく曖昧な部分で、やっぱり所管の課だから、そういうものをやっぱりぱっと出すというようなことも、らしくやっただけならばお結構なんですけれども、まだ時間があるので、ぜひ予算措置じゃなくても、らしくみんなに受けとめられるようなイベントにしてもらいたいということで、これは要望ですけれ

ども、よろしく申し上げます。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 20ページの015の労働施策推進事業、勤労者の生活安定資金の預託金ですが、先ほどちょっと聞き漏らしたんですが、中央労働金庫に預託をするということですが、25年は今からですけれども、24年度の内容について、どのくらいの預託の件数があったのか、その辺を教えてください。

○委員長（長谷部 集君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） 内容につきましては、対象者は、1年以上市内に在住し、1年以上同一職場に勤務し、年収が150万以上の者で、融資限度額は1人100万円となっております。

24年度の決算ですが、5月と12月に1件ずつ100万円、合計で2件で100万円、25年度の今現在ですが、11月に30万、12月に100万円の貸し出しをしております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 今、地域経済に大きな影響を与えそうな、ルネサスの事業所の閉鎖問題が話題になっておりますけれども、この問題についてはその後の経過、どんなふうになっているのか、わかる範囲で結構ですけれども、教えていただけますか。例えば、この前は違う工場へ労働者を移すとかというようなことも言ってありますし、また、やめる方もいるというふうなことでありますが、その辺の経過がわかれば教えてください。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 常任委員会のほうへはお話ししたかと思いますが、1月の末に第2回目の労働局の雇用対策本部が開かれ、出席したところですが、ルネサスエレクトロニクスについては3月いっぱいまでは労使協議を継続しているという状況で、労働局が入って労働あっせんになるような場面は4月以降になろうかと思っております。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） ぜひ、働いている方たちの何というか、生活を最重点に考えていただくようお願いをしたいと思います。

ところで、別件ですが、大雪で大分農業関係えらい被害を受けたんですが、商業関係につ

いては、被害についてはどんなふうな状況なのか。商工会あたりと連絡とって、その辺はお聞きになったんでしょうか。もし、わかっている範囲で結構ですけれども、教えていただけますか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 先般の雪害による被害ですが、商工会にも協力いただいて、現在調査を続けているところですが、私の知っている範囲では三、四件、現在のところ被害があったということを聞いております。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） その被害の内容は、どんな内容でしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 製造業とは別に、農林関係だと思いますが、牛舎が倒壊したというような事業者があります。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 特に、商工振興事業の中でもこれは問題になると思うんですけども、小規模企業者経営改善資金緊急対策利子補給、昨年60件くらいですか、ことしも同じような状況なんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） 利子補給につきましては、25年決算見込みですが、現在65件ほどを予定しております。

以上です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 特に商工関係、また、中小企業の皆さんのやっぱり資金繰り、これについては今、アベノミクスが大分幅をきかせて、景気がよくなっているなんていう一方では、大分厳しい状況もあるということではありますが、例えば資金繰りの対策として、金融円滑化法が打ち切られましたですね。これは昨年の3月、打ち切られました。そのほかにも、セーフティネットの5号の保証も縮小されたというふうなことでありますが、これについては引き続きあれでしょうか。金融関係なんかについても、市としてもまた商工会と協力しながら中小企業対策、経営を守っていくという点ではどんなふうな対応されているんでしょうか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 中小企業に対する支援の一部として、先ほど係長が言った緊

急対策利子補給は、今後も継続する予定です。また、今回の雪の被害に対しては、県の融資資金が設備投資5,000万、運転資金2,000万ということで、9月30日までの期間ということで、売り上げ高20%減少した企業に対して資金を低利で貸し付けるという融資制度を県が2月から始めたところです。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 別件、23ページの竜王駅の魅力発信協議会の補助金650万円、これは変わりませんか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 予算額650万は、前年度と同額です。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 立派な駅がつけられて、できるだけ甲斐市の活性化のために役立つような駅になっていただきたいなと思っているんですが、この魅力発信のイベント、これがどのような効果を生んでいるかということですが、その辺の評価はいかがですか。大分にぎわっているときもあるんですけども、どのような経済効果、あるいは人的な効果が生まれているのか、その辺もちょっと聞きたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 費用的には650万投資して、イルミネーションのほうで590万ほど、あと昨年、点灯式と一緒にやりましたミニコンサート等があと残りの金額です。

費用対効果という点については、ソフト事業でありますので、一時的にそのイベントを開催した11月16日には3,000人ぐらいの乗降があったかと思います。それをなかなか継続して集客に努めるということは、ソフト事業にも限界があります。やはり、ハード面で何か事業所なりが、店舗なりがあれば、流れもまた変わるかと思います。

○委員長（長谷部 集君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） ぜひ、あれだけの立派な竜王駅をつくれたわけですから、甲斐市への見返りを、活性化をぜひ成功させて、にぎわったなという、経済効果もあるというふうなことにひとつ努力していただきたいと思います。要望です。

○委員長（長谷部 集君） その他質疑ございませんか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 22ページの商工振興事業についてちょっとお聞きしたいんですが、商工会には補助金として、大体このぐらい毎年出していますよね。

振興事業ですからあれですけども、何回か、商工会とは議会としては一、二回かな、意見交換会なんかやっていますけれども、職員とこういう例えば商業振興の事業に関してとか、工業振興の事業に関してというような部分では、意見交換なんかはやっているんですか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 先ほどもちょっとお話ししましたが、工業部会のほうとは2回ほどお話をさせていただきました。また、商業振興のほうの観光部会のほうとも協議をさせていただいたところです。

○委員長（長谷部 集君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） なぜこんなことを聞くかという、要はこれだけの補助金を出しているわけですよね。要するに、現状の把握というものを平時のうちにしておかないと、災害時とか非常時には、要するに現状の把握をしていなければ対応ができないわけでしょう。だから、せっかくこういう団体があるわけですから、平時から意見を交換して、要するに現状の把握に努めるというのが僕は職員の役目ではないかと思うんですが、その辺はいかがですか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 今後も、商工会と連携できる場面については協議を進め、事業の活性化に努めたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） それで、これは商工会に入っている人は商工会を通じてもいいんですけども、市内には商工会に入っていない工業団地とか結構大きな会社もあるわけですよね。そういうところは入っていないですよね。そういうところとの例えば意見交換とか、要するに今、企業立地にも関係することなんですけれども、その辺との関係ですよね。要するに、現状の実際把握しているかどうか、その辺はどうですか。今後を含めて、意見交換会らしきものをやるとか。

○委員長（長谷部 集君） 花輪課長。

○商工観光課長（花輪正純君） 先ほどもちょっとお話ししましたが、工業部会さんのほうからも、ミニ工業団地をというようなお話もあります。いろいろな場面で多方面からご意見を伺うことは重要だと思いますので、商工会以外の手前の会社の方ともお話をする機会を今後もちたいと思います。

○委員長（長谷部 集君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 課長そうおっしゃるんですから、ぜひそういうことを推し進めていっていただいて、要するにやっぱり非常時にはそういう大きな会社なんかも、甲斐市のためには結構なと思うんですよね。日ごろから意見交換というか、話し合いができるような状態にしておかないと、いざというときにも協力体制が組めないような気がするんです。だから、その辺はぜひ、どういう手を使ってもいいですから、向こうと話ができるようなね。

それで、そうすれば、ざっくばらんな話をすると、そういう会社というのは結構、甲斐市も法人税とかかなりもらっている会社なんですよ。だから、そういうところにお話をしていけば、いろいろな面でも協力体制がとれると思うんです。そういうようなことを日ごろから、当然商工会も大事ですが、商工会に加入されていない会社ともそういう連携をとっていくことが僕は大切じゃないかと思えますけれども、要望も込めて、部長のほうから答弁いただければ、よろしくをお願いします。

○委員長（長谷部 集君） 米山部長。

○建設産業部長（米山徳彦君） 雪害、14、15日の先月の大雪に伴いまして、除雪作業を建設安全協議会を通しまして、それは当然市民の方々の共助によりまして行いました。

特に双葉の農工団地のメイコーさん、内藤製作所さん、今言う話ですが、商工会のメンバーにどうかと、ちょっと確認できませんけれども、近々その7業者ぐらいあります。我々の管理する立場の市道を自発的にやっていただきまして、除雪を。その話も聞いておりますから、その担当地区は環境課が主になって担当で確認をしなきゃいけなかったんですけども、行ったらかいてあったという状況で、確認をしたら、そういう重機を持っている方々が、自分の当然駐車場もかきますけれども、そこへ入るための市道もかいてくれたということもありますので、これは副市長にも話をしてありまして、近々そういう方々と意見交換会をして、災害時はどうするかとか、何かうまい商工業の発展とかそういう話も含めて、今後やっていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

○委員長（長谷部 集君） よろしいですか。

その他質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部 集君） ないようですので、質疑を終了いたします。

以上で労働費及び商工費並びに基金費のうち、商工観光課所管事業についての審査を終了といたします。

以上で本日の審査を終了し、散会といたします。

あすも午前9時半から再開をいたしますので、どうぞよろしく願いいたします。  
ご苦労さまでした。

散会 午後 3時40分